SHARP®

取扱説明書

パーソナルコンピュータ
形 名

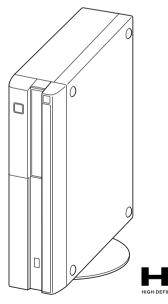
ピーシー　エーエックス　ブイ
PC-AX30V
PC-AX80V
PC-AX120V

パソコン機能編

操作に入る前に別冊の
接続と準備編をご覧ください。

インターネット AQUOS

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

基　本
インターネット
周辺機器
活　用
困ったときは
付　録

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」（接続と準備編 2ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

はじめに

著作権等に関するご注意

● このパソコンを利用して各種 CD・DVD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

ご使用前のおことわり

● 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転写、あるいは複製することはお断りします。

● 本書は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 本書に記載の画面や操作方法は一例です。

● お買いあげのパソコンに付属しているアプリケーションソフトウェアは、バージョンや搭載機能が市販のパッケージ商品と一部異なる場合があります。

商標、登録商標

・Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Aero、Internet Explorer、Outlook、ReadyBoost は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・インテル、インテル Core、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
・Memory Stick、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロはソニー株式会社の商標です。
・xD-Picture Card は、富士フイルム株式会社の商標です。
・IrSS™、IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association の商標です。
・CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの商標です。
CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・MBRINST は、日本およびその他の国における株式会社ネットジャパンの商標です。
・ShadowProtect Restore は、米国およびその他の国における StorageCraft Technology Corporation の商標です。
・Roxio、Roxio Easy Media Creator は、Sonic Solutions の商標です。
・Yahoo! は、米国ヤフーの登録商標または商標であり、ヤフー株式会社はこれらに関する権利を保有しています。
・TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
・Corel、Ulead、InterVideo、WinDVD は、Corel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・ドルビー、Dolby およびダブル D 記号「 DD 」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

DOLBY® DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

OS のサポートに関するご注意

● 本機では、プリインストールされている OS（日本語版）のみをサポートしています。

● Windows Vista には、オンライン手続きで上位エディションにアップグレードできる「Windows Anytime Upgrade」が用意されていますが、シャープ株式会社では「Windows Anytime Upgrade」に関していかなる保証も責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

この説明書の読み方

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

記号	説明
!	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
（電球マーク）	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
接続と準備編	別冊の説明書を示しています。 （左は「取扱説明書　接続と準備編」の例です。）
【パソコン電子マニュアル】	画面で見る説明書を示します。 （左は「パソコン電子マニュアル」の例です。）
（指さしマーク）	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

パソコンのイラストについて

このパソコンは横置き／縦置きの両方が可能ですが、本書では主に横置きのイラストを掲載しています。

テレビの説明について

本書では、本機が当社製液晶カラーテレビ「LC-20D10」、「LC-26D10」、「LC-32D10」、「LC-32DS3」、「LC-37DS3」と接続されることを前提として、説明しています。

それ以外のテレビを接続する場合の接続・設定や制限事項については、インターネットAQUOS サポートページをご覧ください。

http://i-aquos.sharp.co.jp/

リモコンのボタンについて

リモコンのボタンは次のように図示しています。

例）PC／PCメニュー　1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12

リモコンのタッチパッドについて

リモコンのタッチパッドは次のように図示しています。

- ：指でなぞって操作するとき、または押すとき
- ：▲▼のいずれかを押すとき
- ：◀▶のいずれかを押すとき
- ：▲▼◀▶のいずれかを押すとき
- ：中央の●を押すとき

パソコンとキーボードのボタンについて

パソコン本体のボタンやキーボードのボタンは、［　］で囲んで表記しています。

例）パソコンの［電源］を押します。

キーボードのキーについて

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。
また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「+」でつないで表記しています。

例）**Alt** ＋ **F4**

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や画面、アイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）

・「コントロールパネル」をクリックします。

・「画面のプロパティ」画面が表示されます。

画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やパソコンの状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

画面の背景

本書に記載している画面の背景には、Windows の壁紙を使用しています。
画面の背景は変更することができます。変更方法については**【パソコン電子マニュアル】**(☞ 92 ページ) の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」－「**画面表示**」を参照してください。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲み、小文字で表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

例）**c: ¥mnmanual ¥sample.bmp** と入力します。

（スタート）について

画面左下の（スタート）をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
スタートメニューは、パソコンの操作の入り口です。通常はここからプログラムを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりします。また、パソコンの設定を調整するときや、パソコンの電源を切るときなどもこのスタートメニューを使用します。

もくじ

基本

インターネット

周辺機器

活用

困ったときは

付録

各部の名称

パソコン

前面

> **イラストについて**
> このパソコンは横置き／縦置きの両方が可能ですが、本書では主に横置きのイラストを掲載しています。

基本

後面

テレビ接続（録画・再生）コネクター
（☞ 接続と準備編 ）

ライン出力ジャック

デジタル音声出力（光）ジャック
（☞ 80ページ）

主電源スイッチ
（☞ 19、25ページ）

通風孔

通風孔

ACアダプタージャック
（☞ 接続と準備編）

LANジャック
（☞ 接続と準備編）

USBコネクター
（☞ 80、81、83ページ）

HDMIコネクター
（☞ 接続と準備編）

テレビ／パソコン連携
コネクター※

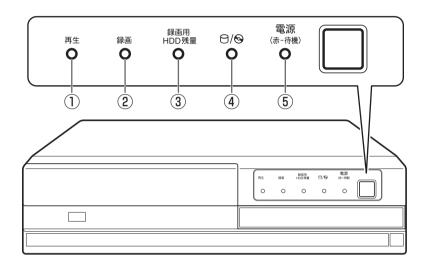
パソコン映像出力コネクター※

※通常は、HDMI コネクターでテレビと接続します。これらのコネクターでの接続方法等詳しい情報は、インターネット AQUOS サポートページの機種別ページにて順次ご案内します。
http://i-aquos.sharp.co.jp/
HDMI コネクターとパソコン映像出力コネクターの同時出力はできません。マルチモニタ機能には対応していません。

ご注意

- 通風孔は機器内部の熱を放出するためのものですのでふさがないでください。
内部に熱がこもり、故障の原因になります。

状態表示ランプ

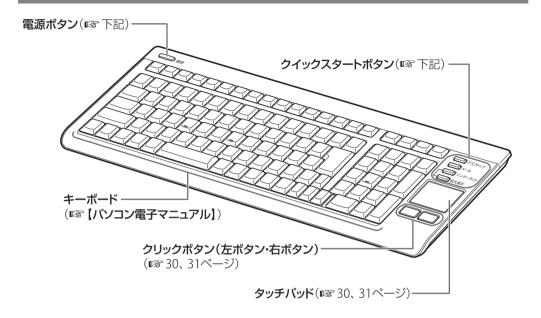
テレビ番組を録画しているときや、録画した番組を再生しているときに点灯します。また、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブが動作しているときには点滅します。
録画用ハードディスク（録画ユニット）※の残量や電源状態を確認することもできます。
※本機は、パソコン用と録画用の 2 種類のハードディスクを搭載しています。
（PC-AX30V を除く）

① 再生ランプ	緑色点灯	録画した番組を再生中。
② 録画ランプ	赤色点灯	録画中。
③ 録画用ハードディスク残量ランプ	赤色点灯 赤色点滅	録画用ハードディスクの空き容量が 15%以下。 録画用ハードディスクの空き容量が 5%以下。 または保存しているタイトル（録画した番組）の数が、最大録画可能番組数より 1 少ない状態、または最大録画番組数に達した状態。
④ ハードディスク＆CD/DVD ランプ	緑色点滅	パソコン用ハードディスク /CD/DVD にアクセス（読み書き）している。
⑤ 電源ランプ	緑色点灯 赤色点灯 オレンジ色点灯 消灯	パソコン部と録画ユニットの電源が入っている。 パソコン部がスリープ（低消費電力状態）になっている。 録画ユニットは待機状態か電源が入っている。 パソコン部の電源が切れている。 録画ユニットは電源が入っている。 電源の状態は次のいずれかになります。 ①パソコン部の電源が切れている。 録画ユニットは待機状態になっている。 ②主電源が切れている。

- PC-AX30V には録画用ハードディスクがないため、①～③のランプと表記はありません。
- 録画ユニットの電源が入ると、①～③のランプが点滅します。

ご注意

- 再生ランプ、録画ランプ、⊖/⊙ ランプが点灯中は、次のことはしないでください。データが失われたり、故障の原因になります。
  - 電源を切る
  - パソコンを移動する

キーボード

表面

電源ボタンについて

パソコンの電源を入／切（スリープ）します。押すときは、約 1 秒間押し続けてください。

クイックスタートボタンについて

クイックスタートボタンを使うと、画面の表示を切り換えたり、ソフトウェアを起動したりできます。

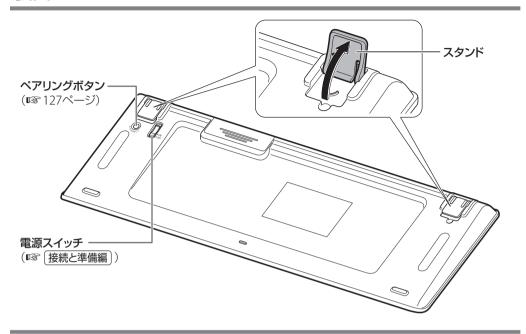
デスクトップ ― ①
メール ― ②
インターネット ― ③
拡大表示 ― ④

① デスクトップボタン
押すと、開いている画面を一時的に消して、Windows のデスクトップ画面を表示します。
もう一度押すと、元の画面に戻ります。

② メールボタン
押すと、メールソフトが起動します。

③ インターネットボタン
- **Web ブラウザが起動していないとき：**
  Web ブラウザソフトが起動し、ホームとして登録されているホームページが表示されます。
- **Web ブラウザが起動しているとき：**
  ホームとして登録されているホームページが表示されます。

④ 拡大表示ボタン
押すたびに、100% → 125% → 150% → 175% → 100% ... と、ホームページの画面が拡大表示されます。

裏面

電源スイッチ

キーボードからの電源を入 (ON) ／切 (OFF) します。使用するときは「ON」の状態にしてください。

ペアリングボタン

キーボードからの入力操作を受け付けないときに使用します。(☞127 ページ)

スタンド

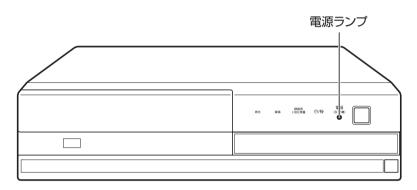
引き出した状態にすると、キーボードに少し角度をつけて使用することができます。

パソコンの電源を入／切する

電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
はじめて電源を入れるときは、接続と準備編 を参照してください。
本機は主電源を入れてから使用します。
主電源を入れると、次の状態になります。

- インターネットや各種ソフトウェアを利用するための、パソコン部の電源が入／切できるようになります。
- デジタル放送の録画や再生を行う、録画ユニットの電源が待機状態（低消費電力状態）になります。

デジタル放送の録画や再生は主電源が入っていないとできません。通常は主電源を入れたまま使用してください。

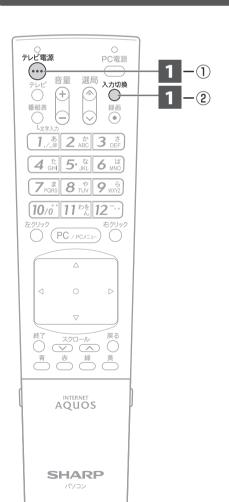
電源の状態は、電源ランプの点灯状態で確認できます。

主電源	電源ランプ	パソコン部	録画ユニット
入	緑色点灯	電源が入っている。	電源が入っている。
	赤色点灯	スリープ（低消費電力状態）になっている。	待機状態か電源が入っている。（パソコンがスリープに移行して、10 分後に待機状態になります。）
	オレンジ色点灯	電源が切れている。	電源が入っている。
	消灯	電源が切れている。	待機状態。
切	消灯	電源が切れている。	電源が切れている。

※ PC-AX30V には、録画ユニットは搭載されていません。

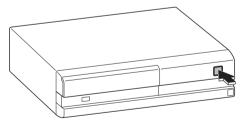
主電源を入れる

1 パソコン後面の主電源スイッチを「入」の方向へ押します。

主電源が入り、電源ランプがオレンジ色に点灯します。
また、再生ランプ・録画ランプ・録画用ハードディスク残量ランプが約10 秒間点灯します。

電源を入れる

1 テレビにパソコンの画面を映します。

① テレビ電源 を押して、テレビの電源を入れます。
② 入力切換 を押して、パソコンを接続した入力を選びます。

2 パソコンの [電源] を押します。

パソコンの電源ランプが緑色に点灯し、Windows が起動します。

デスクトップが表示されます。

画面は一例です。
デスクトップが表示され、操作可能になるまでに少し時間（約 10 分）がかかることがあります。

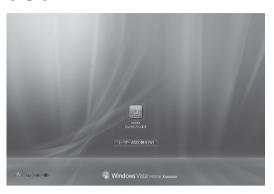
ご注意

- 電源を入れてパソコンが起動するまでは、必要なとき以外はキーボードやリモコンに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。

ご参考

- スリープ（パソコンの電源ランプが赤色に点灯）のときはパソコンの［電源］を押す代わりに、次のボタンを押しても電源が入ります。
  - •キーボードの［電源］
  - •リモコンの PC電源 （PC／PCメニュー）（録画リスト）再生 録画 録画停止 のいずれかのボタン

  このとき、テレビの電源ランプが赤色に点灯している場合は、テレビの電源が切れていますので、リモコンの テレビ電源 を押してテレビの電源を入れてください。

3 次の画面が表示されたときは、キーボードの［⏎］キーを押します。

パスワードを設定している場合

- パスワードを入力し、［⏎］キーを押してください。

ユーザーアカウントを複数設定している場合

- 使用するユーザー名をクリックして選択してください。

リモコンでパソコンの操作をするときは

- リモコンの［PC操作］を押してください。

電源を切る

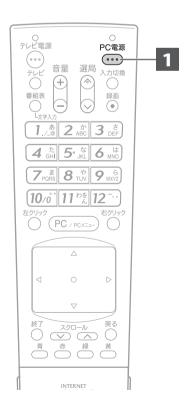
電源の切り方には、スリープとシャットダウンがあります。
通常は、視聴中のテレビ番組の録画や、録画した番組の再生などができるスリープで電源を切ることをお勧めします。

ご注意

- 誤動作やデータの損失を防ぐため、スリープにする前には、データの読み書き／通信／印刷などの作業はすべて終了してください。特にデータの書き込みをしているときは、スリープにしないでください。スリープの操作をすると、データの書き込み中であっても、何もメッセージが表示されずスリープに移行してしまうため、書き込みに失敗します。
- スリープや休止状態への移行中および復帰中は、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。誤動作の原因となります。

ご参考

- パソコンの電源を切った状態でも、録画ユニットが動作しているときは冷却ファンが回ります。

電源を切る（スリープ）

1 PC電源 を押します。

電源ランプが赤色に点灯し、スリープに移行します。

次の方法でもスリープにできます

- パソコンの［電源］を押します。
- キーボードの［電源］を押します。
- スタートメニューで をクリックします。

①（スタート）をクリックします。

② をクリックします。

基本

スリープとシャットダウンの違い

電源の切り方	特徴	電源ランプの状態	電源を入れるには
スリープ	現在の状態（ウィンドウの位置やサイズなどを含む、使用中のプログラムに関する情報など、作業内容すべて）をメモリーとハードディスクに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。 ※リモコンの録画（視聴中のテレビ番組の録画）や再生（録画した番組の再生）を押すとスリープから復帰します。 ※次に電源を入れると、短時間でスリープに入る前と同じ状態が表示されますので、すぐに作業を再開できます。	赤色点灯	•リモコンの PC電源 PC／PCメニュー 録画リスト 再生 録画 録画停止 のいずれかのボタンを押す。 •キーボードの［電源］を押す。 •パソコンの［電源］を押す。
シャットダウン	現在の状態を保存せず、パソコンの電源を切ります。 ※主電源が入っているときは、予約録画はできます。 ※作業中のデータがある場合は、シャットダウンの前にデータを保存する必要があります。 以下の作業をするときは、シャットダウンで電源を切る必要があります。 •再インストールする •ハードディスクの全データを消去する	オレンジ点灯 または 消灯	•パソコンの［電源］を押す。

電源を切る（シャットダウン）

1 （スタート）をクリックします。

スタートメニューが表示されます。

2 マウスポインターを ▶ の上に移動します。

メニューが表示されます。

3 「シャットダウン」をクリックします。

電源が切れます。

ご注意

- 電源を切ってからすぐに電源を入れる場合は、必ず 10 秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

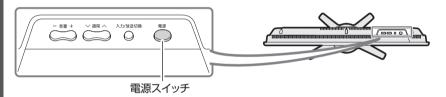
主電源を切る

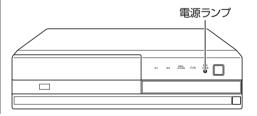
電源を完全に切るときは、パソコン部とテレビの電源を切ってから、パソコンの主電源を切ります。

ご注意

- 必ず下記の手順どおりに操作して主電源を切ってください。
  主電源をいきなり切ると、データが失われたり、故障の原因になることがあります。
- 主電源を切ると、予約録画が実行されません。
- 主電源を切ってからすぐに主電源を入れたり、AC アダプターや電源コードを抜き差しする場合は、必ず 10 秒以上の間隔をおいてください。間隔をおかないと、故障の原因になります。

1 **「電源を切る（シャットダウン）」（☞ 23 ページ）の操作をします。**

2 **テレビ本体の天面操作部にある電源スイッチを押して、テレビの電源を「切」にします。**

3 **パソコンの録画ユニットが待機状態になる（電源ランプが消灯する）のを待ちます。**

テレビの電源を「切」にしてから、約 10 分かかります。
待機状態になると、電源ランプが消灯します。

4 **パソコンの電源ランプが消灯していることを確認し、パソコン後面の主電源スイッチを「切」の方向へ押します。**

Windows Vista の基本操作

このパソコンには、Windows Vista Home Premium が搭載されています。ここでは、Windows Vista の基本操作について簡単に説明します。詳しい操作方法については、Windows の「ヘルプとサポート」（☞下記）を参照してください。

（スタート）

検索ボックス

ここに文字を入力してファイルやフォルダまたはソフトウェアを検索できます。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**（☞ 92 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**データ／ファイル**」－「**ファイル操作**」を参照してください。

スタートメニュー

（スタート）をクリックすると、スタートメニューが表示されます。
スタートメニューは、パソコンの操作の入り口です。通常はここからソフトウェアを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりします。また、パソコンの設定を調整するとき、パソコンの電源を切るときなどもこのスタートメニューを使用します。

すべてのプログラム

パソコンにインストールされているソフトウェアを起動することができます。

電源ボタン

（☞ 22 ページ）

ヘルプとサポート

ここをクリックすると Windows の詳しい説明が表示されます。
スタートメニューの詳細については、ヘルプとサポートの「Windows の基本操作」を参照してください。

※画面は一例です。デスクトップの背景（壁紙）、画面デザイン、表示される項目名やアイコンなどの種類や位置などは実際の画面と異なる場合があります。

デスクトップ

ソフトウェアを使って作業したり、ファイルやフォルダを開いたり、よく使うアイコンを置くことができるいわゆる”机の上”です。ここでは、デスクトップに表示されるフォルダウィンドウについて簡単に説明します。

アドレスバー
▼をクリックすると他のフォルダへ移動します

ナビゲーションウィンドウ
クリックするとそのフォルダに直接移動します。よく使うフォルダを追加しておくと便利です。

検索ボックス
ここに文字を入れてフォルダ内のファイルやサブフォルダを検索できます。

ファイル一覧
現在のフォルダの内容が表示されます。

詳細ペイン
選択したファイルの情報が表示されます。

ご参考

- Windows Vista Home Premium では、Windows Aero 機能（☞次ページ）によりウィンドウの後ろが透けて見えます。

サイドバー

時計や写真(スライドショー)など、ガジェットと呼ばれるソフトウェアが表示されます。ガジェットを追加したり消したりできます。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**(☞ 92 ページ)の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」－「**画面表示**」を参照してください。

タスクバー

(スタート)

タスクバーボタン
開いているウィンドウ(プログラムやファイル)に対応するボタンが表示されます。ボタンをポイントするとウィンドウの縮小画面が表示され(☞次ページ)、ボタンをクリックするとウィンドウが手前に表示されます。

クイック起動ツールバー
アイコンをクリックするだけでソフトウェアを起動できます。よく使うソフトウェアを登録しておくと便利です。
詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**(☞ 92 ページ)の「**使い方を知りたい**」－「**使いこなし**」を参照してください。

(ウィンドウを切り替える)ボタン
開いているウィンドウが立体(3D) 表示されます。表示したいウィンドウをクリックすると手前に表示されます。
(☞ 29 ページ)

(デスクトップの表示)ボタン
開いているウィンドウを非表示にしてデスクトップを表示します。

通知領域
時計やパソコンの設定状態を知らせるアイコンが表示されます。

Windows Aero 機能

Windows Aero（エアロ）機能とは、Windows Vista Home Premium の特徴機能のひとつで、ウィンドウ枠が透けて見えたり、画面切り替えが立体で表示（フリップ 3D）されたり、開いているウィンドウが縮小表示されたりします。

半透明なウィンドウ

スタートメニューの右半分やウィンドウ枠が半透明なので、下にあるウィンドウやデスクトップが透けて見えます。

下のウィンドウが透けて見える

開いているウィンドウの縮小表示

ウィンドウのタスクバーボタンにマウスポインターを合わせると、ウィンドウの縮小画面が表示されます。

ご参考

- Alt ＋ Tab キーを押したときに表示される切り替え画面にも、開いているウィンドウが縮小表示されます。Alt キーを押したまま、繰り返し Tab キーを押し、Alt キーを離すと選択したウィンドウが表示されます。

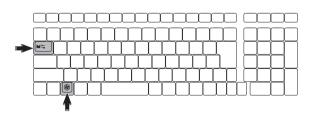
フリップ 3D で画面を切り替える

フリップ 3D を使用すると、開いているウィンドウを斜めから立体的に表示できるので、たくさんのウィンドウの中から目的のウィンドウを探すときなどに便利です。

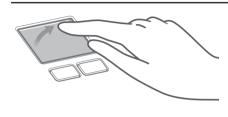
1 タスクバーの をクリックします。

2 使いたいウィンドウをクリックします。

ご参考

- タスクバーの をクリックした後、↓ キーまたは ↑ キーを押すとウィンドウの順番が入れ替わります。使いたいウィンドウを一番前に表示させて ⏎ キーを押すと、フリップ 3D が終了し、選択したウィンドウが前面に表示されます。
- Windows ロゴキーを押しながら Tab キーを押してもフリップ 3D が起動します。Windows ロゴキーを押したまま、繰り返し Tab キーを押し、Windows ロゴキーを離すと、離したときに最前面にあるウィンドウが選択されて表示されます。

キーボードのタッチパッドを使う

キーボードのタッチパッドを使って、パソコンの画面操作（マウスポインター（ ）の操作）ができます。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインターを目的のアイコンやボタンの上に移動することです。
パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。

パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左ボタンを「カチカチッ」とすばやく 2 回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときになどに使う操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、親指で [左ボタン] を押したまま、人指し指をパッド上で動かします（ドラッグする）。
目的の位置まで動かしたら、[左ボタン] から指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トン」と1回たたきます。

ダブルクリックする

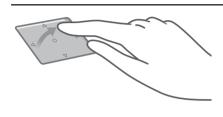
マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トントン」とすばやく2回たたきます。

ドラッグする

マウスポインターの位置を確かめて、パッドを「トントン」とすばやく2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします（ドラッグする）。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

基本

リモコンのタッチパッドを使う

リモコンのタッチパッドを使って、パソコンの画面操作（マウスポインター（ ）の操作）ができます。

ご参考

- マウスポインターが動かないときは PC操作 を押した後、タッチパッドを使ってください。

ポイントする

マウスポインターを目的のアイコンやボタンの上に移動することです。
パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。

パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、パッドの中央部を1回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、パッドの中央部をすばやく2回押します。

ドラッグする

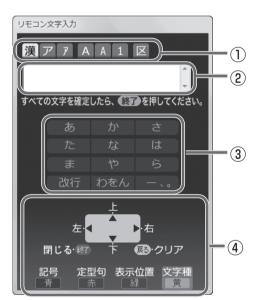
ファイルやフォルダを移動する操作です。
マウスポインターの位置を確かめて、左クリック を押しながら、パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします（ドラッグする）。両手での操作になります。
目的の位置まで動かしたら、左クリック から指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

リモコンで文字を入力する

ホームページを見ているときに、リモコンを使って文字を入力することができます。画面上の文字入力パレットを見ながら、携帯電話と同じような方式で文字を入力できるので便利です。

- お使いのソフトウェアによっては、リモコンでの文字入力ができないことがあります。その場合は、キーボードを使って文字入力してください。

文字入力パレットについて

リモコンでの文字入力には、文字入力パレットを使います。
リモコンの 番組表(文字入力) を押すと、文字入力パレットが表示されます。

① 入力モード

入力できる文字の種類です。現在選ばれている入力モードは黄色で表示されます。（☞ 次ページ）

② テキストボックス

入力した文字が表示されます。

③ 1 ～ 12 ボタンガイド

現在選ばれている入力モードで、リモコンボタン 1 ～ 12 に割り当てられている文字例が表示されます。（☞ 42、43 ページ）

④ 操作ガイド

1 ～ 12 以外のリモコンボタンやタッチパッドの役割が表示されます。入力モードやそのときの状態によって変わります。

ご参考

- **文字入力パレットを移動するには**
  文字入力パレット内に文字が入力されていない状態で「漢」モードを選択し、リモコンの 緑 を押すと、押すたびに画面の右下→左下→右下の順に移動します。
- **文字入力パレットの大きさを変えるには**
  ①(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP PCメニュー」－「リモコン文字入力設定」の順にクリックし、「画面サイズ」タブをクリックします。
  ②「大」「普通」「自動」のいずれかをクリックし、[OK] をクリックします。
- **変換機能が学習した内容（変換候補）をリセットするには**
  ①(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP PCメニュー」－「リモコン文字入力設定」の順にクリックし、「学習クリア」タブをクリックします。
  ②「クリア」をクリックし、[はい] をクリックします。

文字を入力する

リモコンボタン 1 ～ 12 に複数の文字が割り当てられていますので、ボタンを数回押して目的の文字を入力していきます。入力した文字から予測される語句の候補が表示されるので、その中から選んで文字を入力します。

入力モードについて

黄 を押すたびに、入力モード（入力できる文字の種類）が切り換わります。
「漢」→「ア」→「ｱ」→「Ａ / ａ」→「A/a」→「1」→「区」→「漢」→ ...

「漢」.......「ひらがな」を入力できます。漢字に変換できます。

「ア」.......「全角カタカナ」を入力できます。

「ｱ」..........「半角カタカナ」を入力できます。

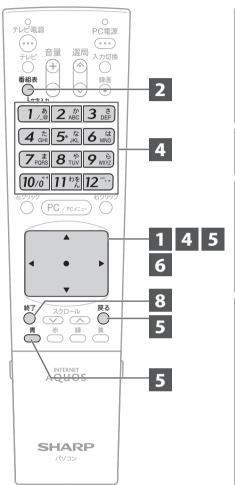
「Ａ」.......「全角英数字（大文字／小文字)」を入力できます。
緑 を押すと、表示が「ａ」に変わり、「全角英数字（小文字)」を入力できます。

「A」.........「半角英数字（大文字／小文字)」を入力できます。
緑 を押すと、表示が「a」に変わり、「半角英数字（小文字)」を入力できます。

「1」.........「半角数字」を入力できます。

「区」.......区点コードで入力できます。(☞ 41 ページ)

漢字（かな）を入力する

「漢」の入力モードでひらがなを入力し、変換候補から文字を選択します。

1 **（十字キー）で、文字を入力したいテキストボックス（ホームページ内など）の上にマウスポインターを移動し、（決定）を押します。**

2 **番組表／文字入力を押します。**
文字入力パレットが表示されます。

3 **入力モードが「漢」になっていることを確認します。**

4 **1 ～ 12 を押して、文字を入力します。**
文字入力パレット内のテキストボックスに入力した文字が表示されます。

- 1つのボタンには複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに文字が切り換わります。（☞ 42、43 ページ）

例： 1 を続けて押すと・・・
「あいうえおぁぃぅぇぉ」の順に文字が切り換わります。

基本

- 同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するには、▶ を押します。

例：「あいず」と入力するには・・・

1 ▶ 1 1 3 3 3 10 の順に押します。

- スペースを入力するには、11 を 4 回押します。

ご参考

- 記号や特殊文字、定型句を入力するには、「記号や特殊文字を入力する」（☞ 39 ページ）、「定型句を入力する」（☞ 40 ページ）を参照してください。

5 ▲ ▼ または 青 を押して、変換候補から文字を選びます。

- 変換候補がリストに表示されたら、▲ ▼ で選びます。
- 目的の文字が変換候補に表示されない場合は、青 を押して変換します。
- 変換せずに確定したい場合は、候補を選択せずに ● を押します。
- 候補選択中に変換を中断するには、戻る を押します。
- 変換対象の文節を変更するには、◀ ▶ を押します。

6 ● を押して確定します。

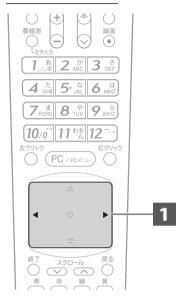
7 必要に応じて、手順 4 から手順 6 を繰り返します。

8 すべての文字を確定したら、終了 を押します。

文字入力パレット内のテキストボックスに表示されている文字が、ホームページ内のテキストボックスに入力されます。
文字入力パレットが消えます。

文字を編集する

文字入力中に、文字を追加したり削除したりするには次の手順に従ってください。

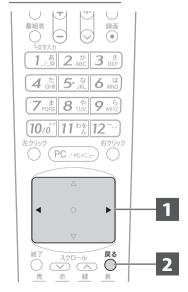
文字を追加する

1 を押して、文字を追加したい位置にカーソルを移動します。

2 文字を入力します。

カーソルの位置に文字が追加されます。

ご参考

- カタカナや英数字の入力モードで、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力するときは、を押します。

文字を削除する

1 を押して、削除したい文字の右側にカーソルを移動します。

2 戻る を押します。

カーソルの左側の 1 文字が削除されます。

基本

 ホームページ内のテキストボックスに入力された文字を編集するには

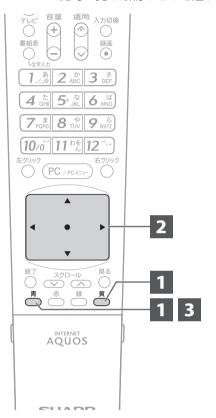
文字入力パレットに文字が表示されていない状態でリモコンの[◂ ▸]を押すと、ホームページ内のテキストボックスでカーソルを移動することができます。

- 文字を追加する
  ① 番組表/文字入力 を押して、文字入力パレットを表示します。
  ② [◂ ▸]を押して、文字を追加したい位置にカーソルを移動します。
  ③ 文字を入力します。
  ④ 終了 を押して、文字入力パレットを終了します。
  ホームページ内のテキストボックスに文字が入力されます。
- 文字を削除する
  ① 番組表/文字入力 を押して、文字入力パレットを表示します。
  ② [◂ ▸]を押して、削除したい文字の右側にカーソルを移動します。
  ③ 戻る を押します。
  カーソルの左側の 1 文字が削除されます。
  ④ 終了 を押して、文字入力パレットを終了します。
- 改行する
  ① 番組表/文字入力 を押して、文字入力パレットを表示します。
  ② [◂ ▸]を押して、改行したい位置にカーソルを移動します。
  ③ [10/0] を押します。
  カーソル位置で改行されます。
  ④ 終了 を押して、文字入力パレットを終了します。

記号や特殊文字を入力する

文字入力パレットに一覧を表示して、記号や特殊文字を入力できます。

ご参考

- 入力モードは「区」以外を選んでください。
- 記号一覧の最初のものを選ぶと、スペースを入力することができます。

1 **変換が終了している状態で 青 を押します。**

文字入力パレットに全角記号・特殊文字の一覧が表示されます。

半角記号を入力するときは、 黄 を押します。

2 **◁○▷ を押して、入力する記号や特殊文字を選び、 ● を押します。**

3 **青 を押します。**

記号・特殊文字一覧

- 全角記号・特殊文字

、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”
（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－
±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞
∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠
￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼
※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪
≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯
♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ	ヮ
ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε
Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α
β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ

χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё
Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П
Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г
д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м
н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─
│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼
━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻
╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑
㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞
㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍	℡
㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽
㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟
⊿	∵	∩	∪						

特殊記号（①～∪の枠内）

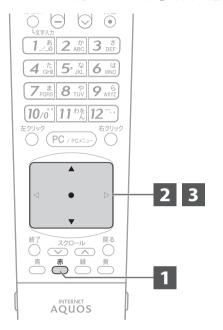
- 半角記号

!	"	#	$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|
}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ

定型句を入力する

文字入力パレットに一覧を表示して、定型句（URL・あいさつ・顔文字）を入力できます。

ご参考

- 入力モードは「区」以外を選んでください。

1 **赤 を押します。**
文字入力パレットに定型句の種類が表示されます。

2 **▲ ▼ を押して定型句の種類を選び、◎ を押します。**
選んだ定型句の一覧が表示されます。

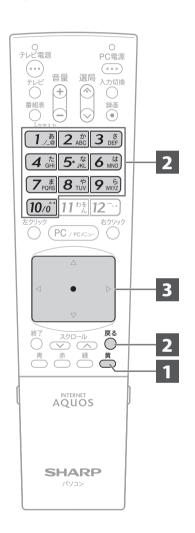
3 **▲ ▼ を押して、入力する定型句を選び、◎ を押します。**
選んだ定型句がテキストボックス内に入力されます。

定型句一覧

URL	あいさつ	顔文字
http://	おはよう	(^_^)
http://www.	おはようございます	(;_;)
https://	こんにちは	(*^_^*)
https://www.	こんばんは	m(_ _)m
.co.jp	おめでとう	(^_^)/
.ne.jp	おめでとうございます	(^^;
.ac.jp	おやすみ	(^o^)
.gr.jp	了解	(>_<)
.jp	了解しました	: -(
.com	はじめまして	: -)
.net	よろしく	: -P
.org	よろしくお願いします	(^o^) ／ ~~
.info	ごめんなさい	(笑)
.htm	すみません	(泣)
.html	お久しぶり	
	お元気で	
	またね	
	また明日	
	ごきげんよう	
	さようなら	

区点コードで入力する

4 桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力することができます。
区点コードとは、文字一つ一つに付けられている固有の番号です。区点コードと区点でコード入力できる文字については、「**区点コード一覧**」（☞ 171 ページ）を参照してください。

1 **黄 を押して、「区」の入力モードを選びます。**

2 **1 〜 10/0 を押して、4 桁の数字を入力します。**

- 1 文字削除するには、戻る を押します。

4 桁の数字を入力すると、区点コードで選んだ文字がテキストボックス内に入力されます。
入力モードは「漢」になります。

3 **決定ボタン を押して確定します。**

基本

リモコンボタンの文字割り当て一覧

リモコンボタンの 1 ～ 12 には複数の文字や記号が割り当てられており、押す回数によって表示が切り換わります。

全角文字の割り当て

ボタン	ひらがな（漢字変換）	全角カタカナ	全角英数字		句点
	「漢」	「ア」	「A」	「a」	「区」
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. ／＿@１（スペース）		1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	abc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	def3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	ghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	jkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	mno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	tuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	wxyz9	9
10	゛ ゜ ※		0		0
11	わをん □（スペース）	ワヲン □（スペース）	□（スペース）		なし
12	ー、。！？・				なし
青	変換／全角記号リスト表示	全角記号リスト表示			なし
赤	定型句リスト表示（変換中以外）	定型句リスト表示			なし
緑	なし／表示位置切換／前ページ	なし	大小文字変換		なし
黄	入力モード切換／次ページ	入力モード切換			
▲	変換候補選択／カーソル上移動	カーソルを上へ移動			なし
▼	変換候補選択／カーソル下移動	カーソルを下へ移動			なし
◀	カーソル左移動／変換文節変更（変換中）	カーソルを左へ移動			なし
▶	カーソル右移動／変換文節変更（変換中）	カーソルを右へ移動			なし
決定	入力確定	入力確定			なし
戻る	１文字削除（入力中） 変換中断（変換候補選択中）	１文字削除			
終了	入力終了（文字転送・文字入力パレット終了）				

※ 文字入力パレット内が空の状態で「漢」モードのときは、ホームページ内のテキストボックスに改行を入力。文字入力パレットに確定文字がある状態で「漢」モードのときは、文字入力パレット内のテキストボックスに改行を入力。

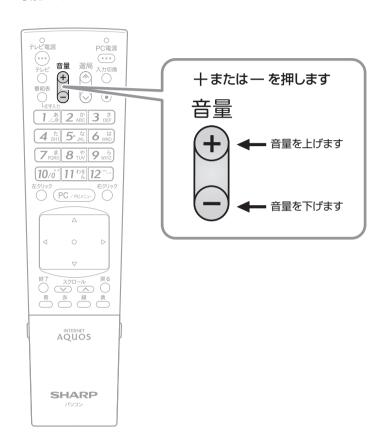
基本

半角文字の割り当て

	半角カタカナ	半角英数字		半角数字
ボタン	「ｱ」	「A」	「a」	「1」
1 あ ./_@	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	./_ @1 □(スペース)		1
2 か ABC	ｶｷｸｹｺ	ABCabc2	abc2	2
3 さ DEF	ｻｼｽｾｿ	DEFdef3	def3	3
4 た GHI	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi4	ghi4	4
5 な JKL	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl5	jkl5	5
6 は MNO	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno6	mno6	6
7 ま PQRS	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs7	pqrs7	7
8 や TUV	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv8	tuv8	8
9 ら WXYZ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz9	wxyz9	9
10 /0 ゛゜	ﾞ ﾟ -	0		
11 わをん	ﾜｦﾝ □(スペース)	□(スペース)		
12	-、。!?・~()'",:;¥&			なし
青	半角記号リスト表示			
赤	定型句リスト表示			
緑	なし	大小文字切換		なし
黄	入力モード切換			
▲	カーソルを上へ移動			
▼	カーソルを下へ移動			
◀	カーソルを左へ移動			
▶	カーソルを右へ移動			
決定	入力確定			なし
戻る	1 文字削除			
終了	入力終了（文字転送・文字入力パレット終了）			

音量を調節する

基本

音量を調節したいときは、リモコンの 音量(+/−) で調節します。
パソコンを使用しているときの音量と、テレビ番組を見ているときの音量は別々に設定できます。たとえば、インターネットのブロードバンド放送を見ているときの音量を「10」に設定し、テレビ番組を見ているときの音量を「15」に設定することも可能です。

タスクバーの 🔈 や「音量ミキサ」画面などで音量を変更しないでください

- パソコンの音量は、あらかじめ最適な状態に設定されています。音量を調節するときは、必ずリモコンの 音量(+/−) で調節し、タスクバーの 🔈 や「音量ミキサ」画面などで音量を変更しないでください。
  誤って変更してしまったときは、「音量ミキサ」画面の音量を最大に戻してください。

CD・DVD を使う

CD や DVD に保存されているデータの読み出し、市販のソフトウェアのインストール、CD や DVD へのデータの書き込みなどができます。

このパソコンには、DVD スーパーマルチドライブ（以下、CD/DVD ドライブと表記します）が搭載されています。

録画用ハードディスクに録画した番組は

- DVD にバックアップすることはできません。
- DVD に移動（ムーブ）／ダビングすることはできません。

使用可能なディスク

使用できるディスクは、「**CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧**」（☞ 177 ページ）を参照してください。

書き込みタイプのディスクについて

ここでは、市販されている書き込みタイプの CD や DVD について概略を説明します。

CD-R ／ CD-RW について

CD-R は、保存したデータの書き換えができません。（追記のみ可能）
CD-RW は、データの書き換えが可能です。

データの書き換えができないタイプ

約700MB（フロッピーディスク約500枚分）のデータ保存が可能。データのバックアップやオリジナル音楽CDの作成に向いている。

データの書き換えができるタイプ

データの保存容量はCD-Rと同じ。一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。

※ 書き込み時に、「ディスクを閉じる」設定をしていないディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、音楽 CD を作成したときは、ディスクが閉じられるためデータを追加して書き込むことはできません。

基本

DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD+R ／ DVD+RW について

DVD-R と DVD+R は、保存したデータの書き換えができません（追記のみ可能）。DVD-RW と DVD+RW は、データの書き換えが可能です。

データの書き換えができないタイプ※1、※2	
	データのバックアップやDVDビデオの作成に向いている。DVD-R（1層）は市販のDVDプレーヤーで再生できるなど、互換性が高い。

データの書き換えができるタイプ※1、※2、※3	
	DVD-R、DVD+Rの特性に加え、一度書き込んだデータを消去して書き換えることができる（約1000回）。

※ 1　DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD+R ／ DVD+RW へのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなる場合があります。

※ 2　書き込み時に、「ディスクを閉じる」設定をしていないディスクに空き容量があるときは、データを追加して書き込むことができます。ただし、DVD-R（2 層）にはデータを追加して書き込むことはできません。また、Ulead DVD MovieWriter 5 SE（付属ソフト）を使用して DVD ビデオを作成する場合、DVD-R および DVD+R には、データを追加して書き込むことはできません。

※ 3　旧機種の DVD プレーヤー、DVD-ROM ドライブで再生できない（互換性がない）場合があります。

DVD-RAM について

DVD-RAM は、データの書き込み、追記、消去ができます。DVD-RAM にはカートリッジ式と非カートリッジ式があります。

非カートリッジ式 ※1	
	片面約4.7GBのデータ保存が可能

カートリッジ式 ※1、※2	
	片面約4.7GBのデータ保存が可能
	片面約4.7GB、両面約9.4GBのデータ保存が可能※3

※ 1　DVD-RAM へのデータ書き込みには、ファイルの管理領域などにも割り当てられるため、実際に書き込めるデータ容量は、ディスクに記載されている容量よりも少なくなります。

※ 2　カートリッジ式の DVD-RAM を使用するときは Type2、または Type4（カートリッジから DVD-RAM が取り出せるタイプ）を使用し、カートリッジから DVD-RAM を取り出して、CD/DVD ドライブにセットしてください。

※ 3　両面を同時に使用できません。ディスクの両面にデータを書き込む場合は、片面の書き込み終了後に DVD-RAM を取り出し、裏返してから再度 CD/DVD ドライブにセットし、データを書き込んでください。

ディスクをセットする／取り出す

ご注意

- CD/DVD ドライブのトレイに無理な力を加えないように注意してください。破損・故障の原因になります。
- 次のディスクや「**ディスクの取り扱い**」(☞ 51 ページ）に記載されているディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になります。
    - 8cm のディスク（横置き時は使用可能）および 8cm ディスク用の変換アダプター（横置き時も使用不可）
    - 特殊形状（ハート型や八角形、名刺型など）や DVD Slim disc などの規格外ディスク
    - 市販のクリーニングディスク

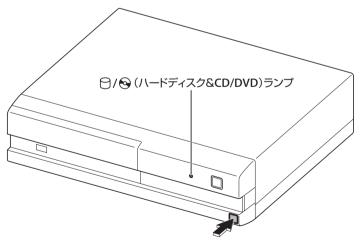
ディスクをセットする

ご参考

- パソコンの電源が切れているときやスリープのときは、ディスクのセットはできません。

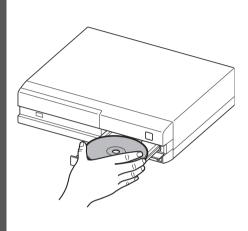
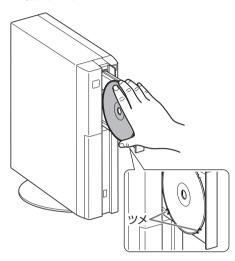
1 **（ハードディスク＆ CD/DVD）ランプが消えていることを確認し、▲（取出し）ボタンを押します。**

トレイが出てきます。

ご注意

- ランプが点滅しているときは、▲ ボタンを押さないでください。誤動作の原因になります。

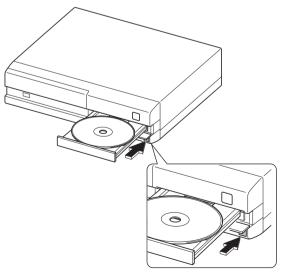
2 ディスクをトレイに置きます。

横置きの場合
ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして置きます。

縦置きの場合
ラベル面（文字が印刷されている面）を左にして、ツメの内側に置きます。

ご参考

- 両面が再生できる DVD ビデオなどをセットする場合は、再生面の表記（Side A など）がある面を上（縦置きの場合は左）にしてセットしてください。

3 ▲（取出し）ボタンを押します。

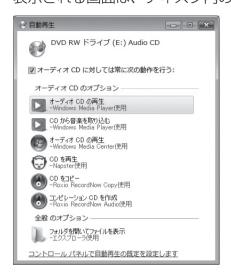
トレイが閉じます。

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。その間、⊖/⊗ ランプが点滅します。

ご参考

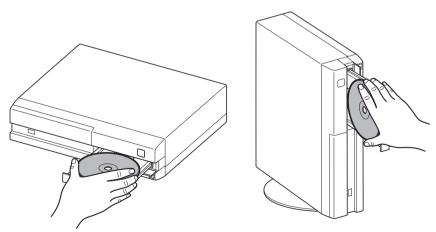
- トレイの中央部を押しても、トレイを閉じることができます。

ディスクをセットした後に以下のような画面が表示されたときは、Windows が実行する動作をクリックして選択し、［OK］をクリックします。
表示される画面は、ディスク内のデータによって異なります。

ディスクを取り出す

ご参考

- パソコンの電源が切れているときやスリープのときは、ディスクの取り出しはできません。

1 **「ディスクをセットする」（☞ 47 ページ）の手順 2 で、ディスクの両端を持って取り出します。**

ご注意

- ／ ランプが点滅しているときは、▲ボタンを押さないでください。
誤動作の原因となります。

データを書き込む

書き込みタイプの CD や DVD にデータを書き込むときは、用途に応じた書き込み方法を下記項目で確認してください。

- 「**オリジナル音楽 CD や DVD を作る**」(☞ 110 ページ)
- **【パソコン電子マニュアル】**(☞ 92 ページ)の「**使い方を知りたい**」－「**CD/DVD**」

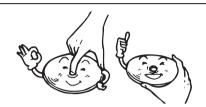
ご参考

- 書き込みできるディスクの種類については、「**CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧**」(☞ 177 ページ)を参照してください。

書き込みに失敗しないために

- データの書き込みの操作前には、関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了してください。
- データの書き込み中は、必要なとき以外、操作ボタンやキーを押さないでください。

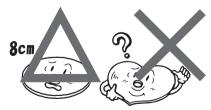
ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。
使用禁止のディスクを CD/DVD ドライブに挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になります。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房器具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

CD-R などのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

シールやテープなどは貼らないでください。また、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状（ハート形や八角形、名刺型など）や DVD Slim disc などの規格外ディスクは使わないでください。8cm ディスク用の変換アダプターも使用できません。また、本体を縦置きにしたときは、8cm ディスクは使用できません。

	市販のクリーニングディスクは使わないでください。
	ひび割れしていたり、変形・破損しているディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷が付くことがあります。

書き込みタイプのディスクをお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

ご注意

- 次のものは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のスプレーやクリーナー
- 静電防止剤

インターネット

リモコンでインターネットを楽しむ

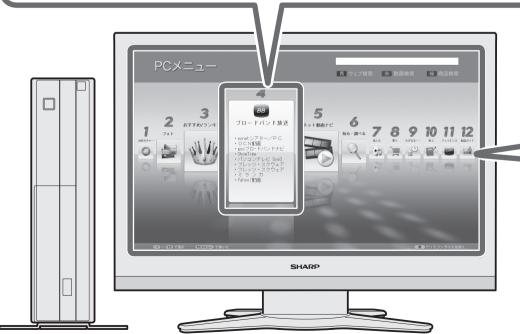
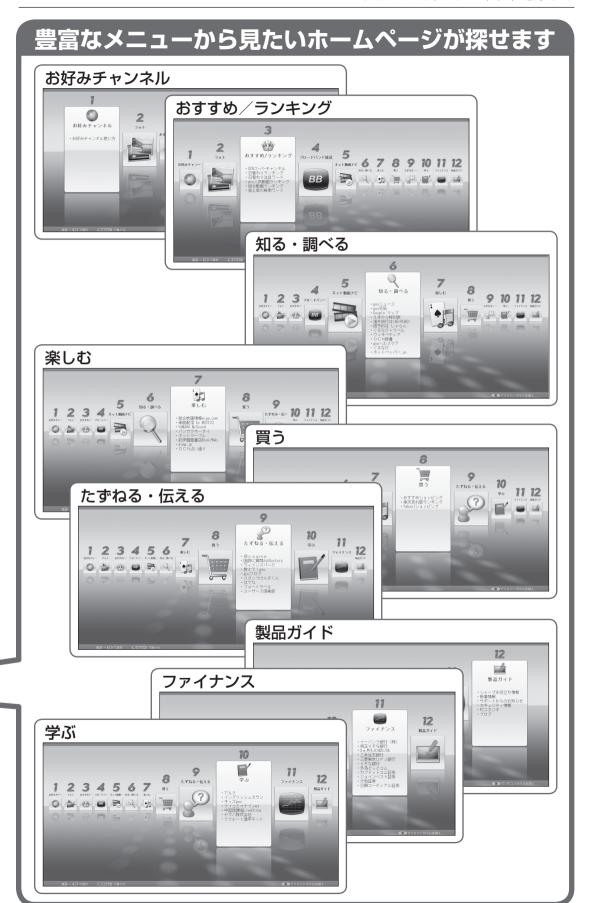
このパソコンでは、インターネットもリモコンで操作可能です。

- 表示される内容は、インターネットのサービスを利用しています。サービスの内容および仕様については、予告なく変更・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- PC メニューは、インターネットを通じて、最新の情報に自動更新されます。

インターネットで配信されている番組を楽しめます

ブロードバンド放送

豊富なメニューから見たいホームページが探せます

インターネット

お好みのホームページを見るまでの流れ

① PC メニュー表示

 を押します。

PC メニューが表示されます。

ご参考

- パソコン以外の画面が表示されているときに PC／PCメニュー を押すと､パソコンの画面に切り換わります。再度 PC／PCメニュー を押すと､PC メニューが表示されます 。

②メニュー選択

見たいメニューを、 のマウス操作（パッドを指で左右になぞり、メニューを大きく表示させる操作）で選び、 を押します。

ご参考

- 1 ～ 12 の番号がついているメニューは、 でも選ぶことができます。

③チャンネルメニュー選択

見たいメニューを、 のマウス操作で選び、 を押します。

④ホームページ閲覧

選局 を押してホームページを切り換えます。

ブロードバンド放送を楽しむ

PC メニューには、いろいろなブロードバンド放送が登録されています。
ブロードバンド放送とは、映像や音声をインターネットで配信するサービスです。
このパソコンでは、人気のドラマからオリジナル番組、スポーツや音楽など豊富なコンテンツが楽しめるサービスが用意されています。

ブロードバンド放送には、チャンネル型動画配信や VOD（ビデオ・オン・デマンド）などがあります。

- **チャンネル型動画配信**
  テレビ放送のように、番組表に基づいて映像や音声が配信されています。
- **VOD**
  一定期間、決まった映像や音声が配信サイトで公開されています。これらは好きな時間に視聴することができます。

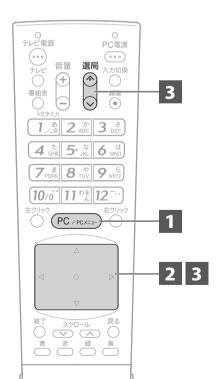
ここでは、ヤフー株式会社提供の「Yahoo! 動画」に登録されているホームページを見る場合を例に説明しています。
他のホームページでも、基本的な操作方法は同じです。

ご参考

- ブロードバンド放送のコンテンツには、無料コンテンツと有料コンテンツがあります。
  また、インターネット回線契約やサービスへの加入申込みが必要なものなど、サービスによって利用方法が異なります。詳しくは、各サービスのホームページで確認してください。

1 PC / PCメニュー **を押します。**

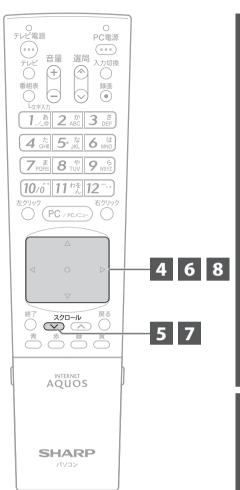
PC メニューが表示されます。

インターネット

2 のマウス操作で「ブロードバンド放送」を選び、を押します。

「ブロードバンド放送」メニューが表示されます。

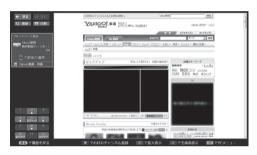
3 のマウス操作で「Yahoo! 動画」を選び、を押します。

「Yahoo! 動画」のホームページが表示されます。

選局 を押すと、ホームページが切り換わります。

4 でマウスポインター（ または ）を見たいジャンルの上に移動し、 を押します。

見たいジャンルのページが表示されます。

5 を押して画面の続きを表示します。

6 でマウスポインターを見たい番組のタイトルの上に移動し、 を押します。

見たい番組のページが表示されます。

7 ∨ を押して画面の続きを表示します。

8 でマウスポインターを「動画を見る」の上に移動し、を押します。

新しいタブが作られ、動画の再生が始まります。

ご参考

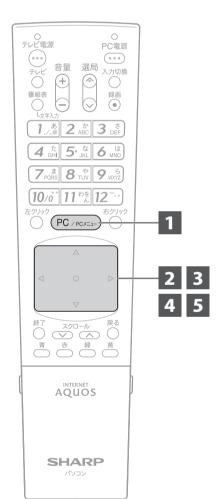
- 緑 を押すと全画面表示に切り換わり、画面全体を使って動画の視聴ができます。もう一度、緑 を押すと元の表示に戻ります。
- 黄 を押すとメニュー表示に戻ります。
- PC メニューから表示させた専用 Web ブラウザは、Windows に付属している Internet Explorer(インターネットエクスプローラー)と使える機能が一部異なります。(☞ 75 ページ)
Internet Explorer については、**【パソコン電子マニュアル】**(☞ 92 ページ)の「**パソコンの学習**」−「**入門ガイド〜インターネット&メール**」を参照してください。

お好みの動画を楽しむ

興味がある分野のキーワードを繰り返し選ぶと、それに関連した様々な動画コンテンツが表示されます。選んだキーワードは、その履歴を元に自分だけのキーワード一覧になり、動画検索しやすくなります。

ご参考

- 動画コンテンツには有料コンテンツの場合があります。
- キーワードに最適なコンテンツを表示することを保証するものではありません。
- 動画再生ソフト（QuickTime、RealPlayer など）のインストールが必要な場合があります。
- 選択した動画コンテンツが存在しない場合があります

1 PC／PCメニュー を押します。

PC メニューが表示されます。

2 △○▽ のマウス操作で「ネット動画ナビ」を選び、△○▽ を押します。

ネット動画ナビメニューが表示されます。

3 でマウスポインターを見たいキーワードの上に移動し、を押します。

画面右側に、「Yahoo! 動画の検索結果」が表示されます。
繰り返してキーワードを選ぶこともできます。

ご参考

- 1 ～ 12 の番号がついているキーワードは、でも選ぶことができます。

4 でマウスポインターを見たい動画の上に移動し、を押します。

5 でマウスポインターを「動画を見る」の上に移動し、を押します。

動画の再生が始まります。

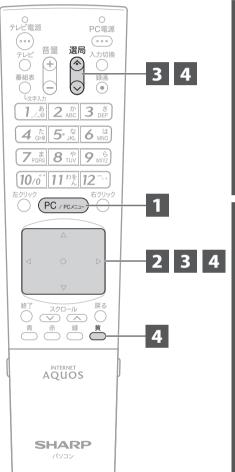
ご参考

- 動画の右端が切れてしまう場合は、緑を押してください。
- 黄を押すとメニュー表示に戻ります。

ご参考

- 操作履歴を削除したいときは、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP PCメニュー」－「ネット動画ナビの履歴削除」を順にクリックして削除します。

いろいろなホームページを見る

PC メニューには、いろいろなホームページがカテゴリーごとに分類して登録されてます。
ここでは、PC メニューから目的のホームページを見つけるまでの流れを説明しています。

1 **(PC / PCメニュー) を押します。**
PC メニューが表示されます。

2 **のマウス操作で見たいメニュー（「フォト」、「ネット動画ナビ」は除く）を選び、を押します。**

選んだメニューの次の階層が表示されます。

ご参考

- 選んだメニューによっては 2 階層目までの構成になっています。この場合、手順**3**の操作は不要です。

3 **のマウス操作で見たいカテゴリーを選び、 を押します。**

メニューに次ページまたは前ページがある場合は、選局 を押してページを切り換えます。

選んだメニューの次の階層が表示されます。

4 **のマウス操作で見たいホームページを選び、 を押します。**

メニューに次ページまたは前ページがある場合は、選局 を押してページを切り換えます。

選んだホームページが表示されます。

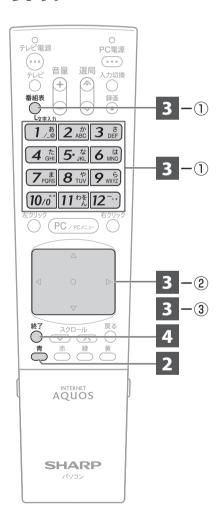
選局 を押すと、登録されている前後のホームページに切り換わります。

黄 を押すとメニュー表示に戻ります。

ご参考

- PC メニューから表示させた専用 Web ブラウザは、Windows に付属している Internet Explorer（インターネットエクスプローラー）と機能が一部異なります。（☞ 75 ページ）
  Internet Explorer については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞ 92 ページ）の「**パソコンの学習**」－「**入門ガイド～インターネット＆メール**」を参照してください。

お好みチャンネルにホームページを登録する

よく見るホームページや、お気に入りのホームページを、お好みチャンネルに登録しておくと、PC メニューのお好みチャンネルから選択できるようになります。

1 **登録したいホームページを表示します。（☞ 63 ページ）**

2 **青 を押します。**
「お好みチャンネル設定」画面が表示されます。

3 **登録を行います。**
①必要に応じて「新しく追加するチャンネル」欄をリモコンまたはキーボードで変更します。
② でマウスポインターを「追加」の上に移動し、 を押します。
ホームページが「お好みのホームページ」のリストに追加されます。
③ でマウスポインターを「OK」の上に移動し、 を押します。

これで、登録は完了です。

4 **終了 を押します。**
PC メニューが終了します。

ご参考

- 「お好みチャンネル設定」画面は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「SHARP PCメニュー」－「お好みチャンネル設定」をクリックしても表示できます。
- Windows に付属している Internet Explorer からも、お好みチャンネルにホームページを登録することができます。
  ① Internet Explorer を起動します。
  ② 登録したいホームページを表示し、IE ツールバーの お好みチャンネル登録 をクリックします。

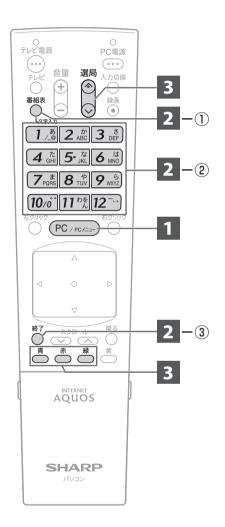
  ③ 登録を行います。前ページの手順 **3** の操作を行ってください。
  Internet Explorer については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞ 92 ページ）の「**パソコンの学習**」－「**入門ガイド～インターネット＆メール**」を参照してください。

登録したお好みチャンネルを見る

① (PC／PCメニュー) を押します。
PC メニューが表示されます。
② のマウス操作で「お好みチャンネル」を選び、 を押します。
「お好みチャンネル」メニューが表示されます。
③ のマウス操作で登録したホームページを選び、 を押します。
メニューに次ページまたは前ページがある場合は、選局 を押してページを切り換えます。
選んだホームページが表示されます。

インターネット検索で知りたい情報を探す

PC メニューの右上にある「インターネット検索」欄にキーワードとなる語句を入力すると、入力した語句に関する情報をインターネットで調べることができます。
キーワードとなるものは、表示したいホームページの名前や内容を示す言葉、調べたい事柄や情報に関する語句などです。

1 **PC / PCメニュー を押します。**
PC メニューが表示されます。

2 **「インターネット検索」欄にキーワードを入力します。**

① 番組表（文字入力） を押します。
文字入力パレットが表示されます。

② キーワードを入力します。（「リモコンで文字を入力する」☞ 33 ページ）
③ 終了 を押します。

3 目的に応じて、検索方法を選びます。

通常の検索をするときは

- 青（ボタン）を押します。
  検索結果が表示されます。

動画の検索をするときは

- 赤（ボタン）を押します。
  キーワードに関連する動画の検索結果が表示されます。

メニューに次ページまたは前ページがある場合は、選局 を押してページを切り換えます。

商品の検索をするときは

- 緑（ボタン）を押します。
  キーワードに関連する商品の検索結果が表示されます。

メニューに次ページまたは前ページがある場合は、選局 を押してページを切り換えます。

キーボードでインターネット検索する

- 通常のインターネット検索はキーボードでも行えます。キーボードを使用してインターネット検索する場合は、以下の手順に従ってください。
  ① リモコンの PC／PCメニュー を押します。
  　PC メニューが表示されます。
  ② キーボードで「インターネット検索」欄にキーワードを入力します。
  ③ ⏎ キーを押します。

ホームページでの操作方法

画面上のボタンの働き

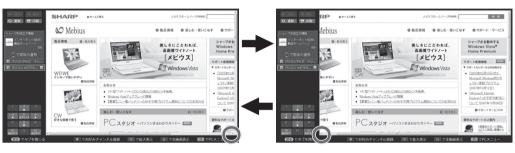
番号	ボタン	クリックしたときの働き
①	← 戻る	現在見ているホームページのひとつ前のページに戻ります。
②	→ 進む	← 戻る を押す前に見ていたページに進みます。
③	更新	ホームページの内容を最新の内容に更新します。
④	印刷	見ているページを印刷します。
⑤	︽	上に隠れたタブを表示します。 タブの数が 5 個を超えたときに表示されます。
⑥		タブを閉じます。
⑦	インターネットAQ…	新しいウィンドウが開くたびに作られるタブが表示されます。 タブを選ぶと、そのタブのホームページの表示に切り換わります。
⑧	︾	下に隠れたタブを表示します。 タブの数が 5 個を超えたときに表示されます。

リモコンのボタンの働き

ボタン	押したときの働き
番組表 文字入力	文字入力パレットを表示し、文字入力を開始します。(☞ 33 ページ)
選局	見ているホームページの、次チャンネルまたは前チャンネルのページを表示します。
左クリック	ホームページ上のボタンなどを押すときに使います。マウスポインター(または)をボタンなどの上に置いて、 から に変わるところで 左クリック を押してください。 スクロールバーなどを動かすときなど(ドラッグ操作)にも使います。マウスポインターをスクロールバーの上に置いて、左クリック を押したまま をなぞると、スクロールバーが動きます。
PC / PCメニュー	専用 Web ブラウザを最小化します。
◁ ○ ▷ △ ▽	マウスポインターの移動と左クリックを行います。 文字入力中は、上下左右と決定の操作を行います。
終了	専用 Web ブラウザを終了します。 文字入力中は、文字入力を終了します。
∧	画面を上にスクロールします。(☞ 次ページ)
∨	画面を下にスクロールします。(☞ 次ページ)
戻る	見ている一つ前のページに戻ります。
青	見ているホームページを「お好みチャンネル」に登録します。(☞ 65 ページ)
赤	見ているホームページを拡大表示します。(☞ 72 ページ)
緑	現在見ているホームページを全画面表示します。もう一度押すと元の表示に戻ります。(☞ 72 ページ)
黄	PC メニューを表示します。
2 か ABC / 4 た GHI 5 な JKL 6 は MNO / 8 や TUV	2 か ABC 4 た GHI 6 は MNO 8 や TUV : 上下左右のリンク部にマウスポインターを移動します。 5 な JKL : 左クリックを行います。 (文字入力パレット表示中は、文字の入力に使用します。)
10/0 12	10/0 : 前のタブの表示に切り換えます。 12 : 次のタブの表示に切り換えます。 (文字入力パレット表示中は、文字の入力に使用します。)

画面をスクロールするには

ホームページによっては、ページの内容が画面の中に入りきらないものもあります。
このとき、画面の右端や下端に「まだ続きがある」ということを示す「スクロールバー」が表示されます。
スクロールバーの上下または左右にあるスクロールボタンをクリックすると、画面の外に隠れているところを見ることができます。

右に隠れていたところを見るときは ▸ をクリックします。　左に隠れていたところを見るときは ◂ をクリックします。

下に隠れていたところを見るときは ▾ をクリックします。　上に隠れていたところを見るときは ▴ をクリックします。

ご参考

- ⌄ を押すと、下に隠れているところを見ることができます。
- ⌃ を押すと、上に隠れているところを見ることができます。

ホームページの表示を拡大する

リモコン操作で、ホームページを拡大表示できます。
ホームページの文字が、離れた場所からでも見やすくなります。

1 ホームページ上で 赤 を押します。

押すたびに、
100% → 125% → 150% → 175% → 100%...
と、ホームページが拡大表示されます。

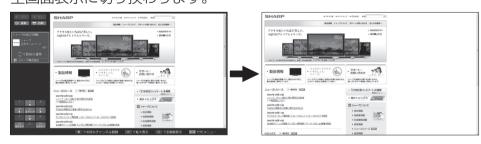
ご参考

- ホームページの内容によっては、拡大表示されない／レイアウトが正しく表示されない／拡大された文字がきれいに表示されない場合があります。
- キーボードの［拡大表示］を押してもホームページを拡大表示できます。

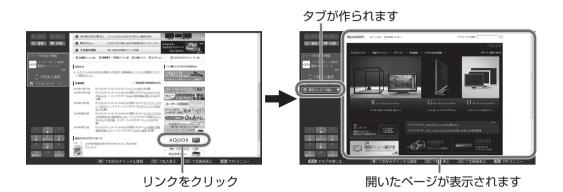
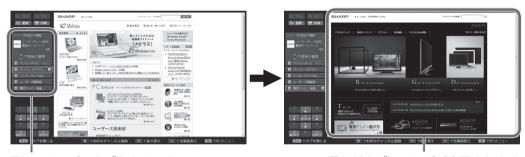
全画面表示に切り換える

ブロードバンド放送などの動画を全画面表示できます。

1 ホームページ上や動画表示中で 緑 を押します。

全画面表示に切り換わります。

緑 または 戻る を押すと、元の大きさの画面表示に戻ります。

タブを切り換える

新しいウィンドウが開くリンクをクリックしたり、ポップアップウィンドウが開いたりするたびに画面左側にタブが作られ、増えていきます。
タブをクリックすることで、表示するホームページを切り換えることができます。

タブを切り換えるには・・・

見たいページのタブをクリック　　選んだタブのページが表示されます

ご参考

- [10] または [12] を押しても、前後のタブに切り換えることができます。
- タブが 5 個を超えると、タブエリアの上下に [⌃] [⌄] ボタンが表示されます。
  隠れているタブを表示させたい場合は、[⌃] [⌄] ボタンをクリックします。

ホームページ上での操作のしかたを変える

マウスポインターをリンクの間だけ移動するようにできます。

1 **見たいホームページを表示します。**

2 **2（上），4（左），6（右）または 8（下）を押します。**

マウスポインターがリンクを移動します。

各エリアの天気

北海道	道北　道東　道央　道南
東北	青森　秋田　岩手　宮城　山形　福島
北関東	茨城　[illegible]　群馬
南関東	[illegible]　東京　[illegible]　神奈川
甲信越	山梨　[illegible]　新潟
東海	静岡　愛知　岐阜　三重
北陸	富山　石川　福井
近畿	滋賀　京都　大阪　兵庫　奈良　和歌山
中国	岡山　広島　島根　鳥取　山口
四国	香川　徳島　愛媛　高知
九州	福岡　佐賀　長崎　大分　熊本　宮崎　鹿児島
沖縄	沖縄

ご参考

- 移動できるのは、主にテキストのリンクです。動的に切り換わるようなリンクには移動できないことがあります。また、ページによっては正しく移動できないことがあります。
- 情報量の多いページでは、カーソル移動できるようになるまでに少し時間がかかることがあります。
- FLASH などのコンテンツでは利用できません。

3 **見たいリンクの上で、5 を押します。**

選んだリンクが開きます。

ご参考

- マウスポインターが画面の外に隠れているところに移動しない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
  - ・スクロール を押す。
- ページによっては、選択できない箇所があります。

専用の Web ブラウザと Internet Explorer の違い

PC メニューから表示させた専用 Web ブラウザと、Internet Explorer では、次の機能が異なります。
専用 Web ブラウザでは、リモコンで各種の操作ができます。

機能	専用 Web ブラウザ	Internet Explorer
リモコンの 1〜12 によるリンク移動（☞ 前ページ）	○	×
リモコンの 選局 による表示ページの切り換え（☞ 56 ページの手順④）	○	×
リモコンの 青 赤 緑 黄 での操作	○（☞ 70 ページ）	○
キーワード検索	PC メニューから検索（☞ 67 ページ）	検索バーから検索
右クリックメニュー	×	○
アドレスを入力して Web サイトを表示	×	○
ツールバープラグインによる機能拡張	×	○
お気に入り /RSS フィード / 履歴表示	×	○
「インターネットオプション」設定	Internet Explorer の設定に依存	○

インターネット

周辺機器

接続できる機器を確かめる

プリンターやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクターの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているか、などを確かめてから購入しましょう。

使える機器を確かめる

Windows Vista に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows Vista に対応しているか確認してください。

専用のソフトウェアをインストールするものがあります

周辺機器によっては、動作させるために必要なデバイスドライバーなどの専用のソフトウェアのインストールが必要な場合があります。周辺機器にCD-ROM などが付属していた場合は、周辺機器の説明書に従ってソフトウェアをインストールしてください。

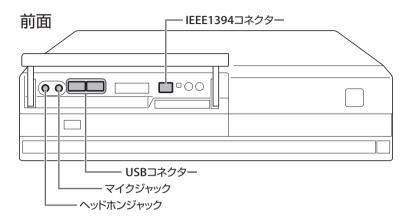
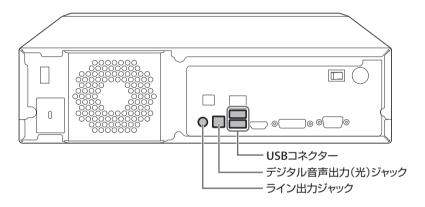
ご参考

- 接続可能な周辺機器については、お買いあげの販売店にお問い合わせいただくか、下記のインターネット AQUOS サポートページを参照してください。動作確認がとれ次第、機種別ページにて順次ご案内します。
  http://i-aquos.sharp.co.jp/

コネクターの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクターがあります。コネクターの名前や形状を確認してください。

前面

後面

IEEE 1394

IEEE1394 コネクター（DV コネクター）

IEEE1394 規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「IEEE1394 対応」などの表示があります。
IEEE1394 対応機器には、デジタルビデオカメラ、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブなどがあります。

コネクターの形状

USB コネクター（A タイプ）

USB 規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB 対応」などの表示があります。USB 対応機器には、マウス、キーボード、プリンター、ハードディスクドライブ、スピーカーなどがあります。

コネクターの形状

ヘッドホンジャック

φ 3.5mm ステレオミニプラグでインピーダンス 16 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。

ジャックの形状

マイクジャック

外部マイクを接続して、アナログ音声を入力できます。
「接続できるマイクの仕様」（☞ 178 ページ）

ジャックの形状

デジタル音声出力

デジタル音声出力（光）ジャック

デジタル音声入力端子のある AV アンプ、ホームシアターシステム、MD レコーダーなどを接続します。

ジャックの形状

ご参考

- テレビの出力端子とパソコン前面の IEEE1394 コネクターを接続しても、映像信号は録画できません。

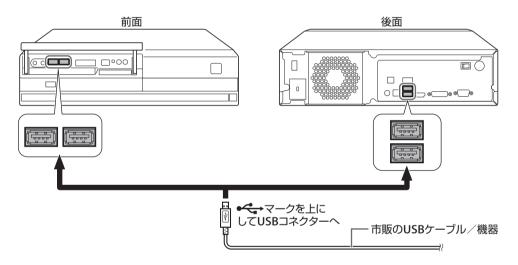
周辺機器

USB 機器を使う

USB 機器を使うには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、USB 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows Vista に対応している USB 機器を用意する。
- パソコンに USB 機器を接続する。
- デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをパソコンにインストールする。

USB 機器を接続する

USB 機器に付属または市販の USB ケーブルで USB 機器とパソコンを接続します。USB コネクターはパソコンの前面と後面に 2 つずつあります。いずれのコネクターに接続してもかまいません。接続するときは、USB ケーブルの マークを上向きにしてください。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB 機器を接続することができます。
- 接続した USB 機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。

USB2.0 について

このパソコンは、USB1.1 および USB2.0 に対応しています。USB2.0 は、USB1.1 よりも速いスピードでデータを転送することができます。USB2.0 の転送速度で利用するには、USB2.0 に対応している周辺機器および USB ケーブルを接続してください。

USB 機器を取り外す

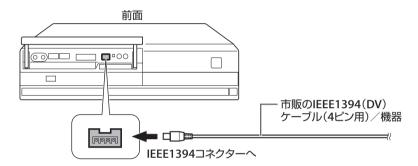
「ハードウェアの安全な取り外し」(☞ 88 ページ) を参照してください。

IEEE1394 機器を使う

IEEE1394 機器を使うには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、IEEE1394 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows Vista に対応している IEEE1394 機器を用意する。
- パソコンに IEEE1394 機器を接続する。
- デバイスドライバーが必要な場合、デバイスドライバーをパソコンにインストールする。

IEEE1394 機器を接続する

IEEE1394 機器に付属または市販の IEEE1394（DV）ケーブル（4 ピン用）で IEEE1394 機器とパソコンを接続します。

ご注意

- テレビ番組を録画する前には IEEE1394 機器を取り外してください。また、テレビ番組を録画しているときは、IEEE1394 機器の接続や取り外しをしないでください。正しく録画されないことがあります。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、IEEE1394 機器を接続することができます。
- 接続した IEEE1394 機器によっては、接続した後に対応するデバイスドライバーが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、画面が表示されますので、画面の指示に従ってデバイスドライバーをインストールしてください。
- スリープまたは休止状態から復帰した後、接続している IEEE1394 機器が認識できない場合があります。この場合は、いったん IEEE1394 ケーブルを外して、再度接続してください。
- IEEE1394 コネクターに i.LINK (TS) 対応機器を接続することはできません。
また、テレビの i.LINK (TS) 端子と接続しても、映像信号を録画することはできません。
- Ulead DVD MovieWriter 5 SE（付属ソフト）は、HDV 形式および AVCHD 形式で記録されたハイビジョンビデオカメラの映像の取り込みには対応していません。

IEEE1394 機器を取り外す

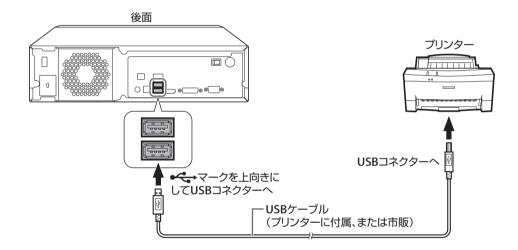
「ハードウェアの安全な取り外し」（☞ 88 ページ）を参照してください。

プリンターで印刷する

プリンターを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンターの説明書もあわせて参照してください。

- Windows Vista に対応しているプリンター（USB 接続可能なもの）を用意する。
- パソコンにプリンターを接続する。
- プリンタードライバーをパソコンにインストールする。

プリンターを接続する

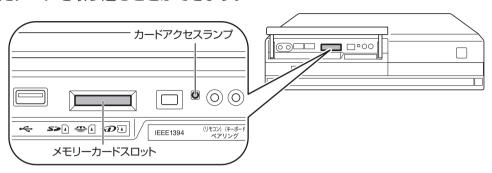
パソコンの電源を入れたまま接続できます。
USB コネクターはパソコンの前面と後面に 2 つずつあります。いずれのコネクターに接続してもかまいません。接続するときは、USB ケーブルの ⭠ マークを上向きにしてください。

プリンタードライバーをインストールする

プリンターを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。
プリンターの説明書を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

ご参考

- 印刷の設定などは、プリンターの説明書を参照してください。
- プリンターに関する質問などは、各メーカーにお問い合わせください。

メモリーカードを使う

メモリーカードスロットに SD メモリーカード、メモリースティックまたは xD-ピクチャーカードを差し込むと、データを保存したり、メモリーカードに保存されたデータを取り込むことができます。

このパソコンで使えるメモリーカード

- SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カード
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ
- xD- ピクチャーカード（Type M、Type H にも対応しています。）

ご注意

- miniSD カード、microSD カード、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオおよびメモリースティック マイクロは、市販の専用アダプターが必要です。アダプターに装着しないでカードを差し込むと、カードが取り出せなくなり、故障の原因になります。
- マルチメディアカードは使用できません。マルチメディアカードをメモリーカードスロットに差し込むと、取り出せなくなり、故障の原因となります。

ご参考

- SD メモリーカードおよびメモリースティックの著作権保護機能、高速転送機能には対応していません。
- このパソコンで使用できる SD カードは、メモリーカードのみです。SD I/O カード、SDHC メモリーカード、SD スピードクラス Class2 以上には対応していません。
- メモリーカードは、データをやりとりする相手機器でフォーマットしたものをご使用ください。

メモリーカードを差し込む

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、メモリーカードを差し込むことができます。
- 同時に複数のメモリーカードを差し込むことはできません。

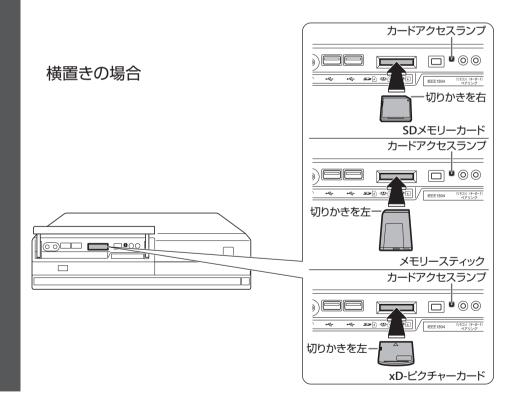
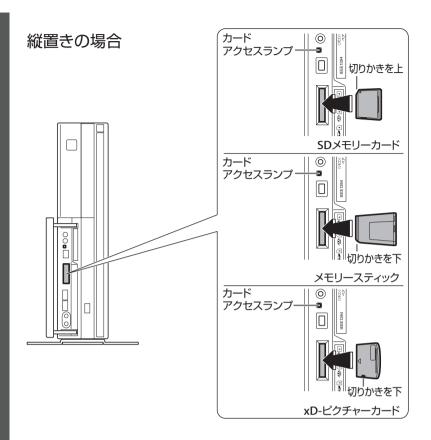
1 データを書き込むときは、メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除位置にして、書き込みできる状態にします。

データを読み取るだけのときは、書き込み禁止スイッチが LOCK 位置にあっても読み取ることができます。書き込み禁止スイッチについては、メモリーカードの説明書を参照してください。

2 メモリーカードを、図の方向にしてメモリーカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

メモリーカードが挿入されると、カードアクセスランプが点灯します。メモリーカードにアクセス（読み書き）中は、カードアクセスランプが点滅します。

周辺機器

縦置きの場合

ご注意

- メモリーカードは、必ず前ページの図または上図のとおり正しい向きで差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、故障の原因になったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

周辺機器

メモリーカードを差し込んだ後に以下のような画面が表示されたときは、Windows が実行する動作をクリックします。
表示される画面は、メモリーカード内のデータによって異なります。

メモリーカードの内容を表示したいときは

上記の画面で「フォルダを開いてファイルを表示」を選択するか、「コンピュータ」画面で次のアイコンをダブルクリックします。

SD メモリーカードの場合	メモリースティックの場合	xD- ピクチャーカードの場合
SD／MMC	Memory Stick Pro Drive	Xd Media Drive

※表示される名称は、使用環境によって異なります。

メモリーカードを取り出す

ご注意

- 必ず下記の手順どおりに操作してメモリーカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、故障の原因になったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

1 **（スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックします。**

「コンピュータ」画面が表示されます。

2 **メモリーカードのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「取り出し」をクリックします。**

メモリーカードのアイコンが Combo Drive に変わり、カードアクセスランプが消えます。

3 **スロットのくぼみから見えているメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押し込み、ゆっくりと引き出します。**

ハードウェアの安全な取り外し

以下の周辺機器は、取り外す前に以下の手順に従って「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を実行してください。

- USB コネクターおよび IEEE1394 コネクターに接続している記憶装置（USB メモリーなど）

ご注意

- 「ハードウェアの安全な取り外し」の操作は、必ず実行してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなったり、USB メモリーやデータが破損したりすることがあります。

ご参考

- USB コネクターや IEEE1394 コネクターに接続している周辺機器の取り外し手順は、機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

周辺機器

1 取り外す USB メモリーなどに保存されているファイルやフォルダを閉じます。

2 タスクバーの をクリックします。

3 表示されるメニューから、「XXXXXXXX を安全に取り外します」をクリックします。

「XXXXXXXX」の箇所は、取り付けられている USB メモリーまたは周辺機器によって表示が異なります。

4 ［OK］をクリックします。

5 USB メモリーなどを取り外します。

メモリーを増設するときは

お客様ご自身によるメモリー増設はできません。メモリー増設のご相談は、下記を参照してください。

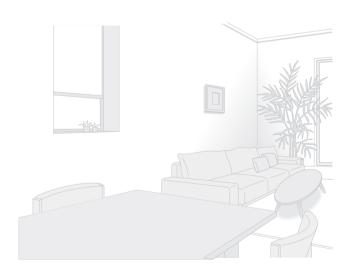
1 本製品に対応した増設メモリーをご購入ください。

使用可能な増設メモリーについては、下記のインターネット AQUOS サポートページを参照してください。
動作確認がとれ次第、機種別ページにて順次ご案内します。
http://i-aquos.sharp.co.jp/

2 増設作業は下記の窓口またはお買いあげの販売店にご相談ください。（有料）

- 出張による増設サービスのご相談、お申し込み
  お客様サポートセンター修理相談窓口
  http://www.sharp.co.jp/support/pc-call.htm
- 製品持ち込みによる増設サービス受付窓口
  パソコン修理相談窓口
  http://www.sharp.co.jp/support/shousn3.html

ご参考

- 増設する場合は標準メモリーの取り外しが必要です。また、必ず 2 つのスロットにそれぞれ 1GB のメモリーボードを取り付けることをお奨めします。取り付けるメモリーボードの容量が異なると、本来の最大処理速度よりも遅い処理速度になります。

- 各ソフトウェアの詳しい操作方法については、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。
- ソフトウェアの使い方などに関するお問い合わせは、当社でお受けするソフトウェアと、ソフトメーカーにお問い合わせいただくソフトウェアがあります。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】(☞ 次ページ)の「付属ソフトウェア」－「お問い合わせ先」でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

パソコン電子マニュアルの使い方

【パソコン電子マニュアル】には、このパソコンに入っている主なソフトウェアの一覧や、色々な使い方、問題が発生したときの対処方法などの説明があります。ここでは、【パソコン電子マニュアル】をお使いいただくための基本的な操作を説明します。

パソコン電子マニュアルを表示する

1 ウェルカムセンターの「パソコン電子マニュアル」をクリックします。

2 「パソコン電子マニュアルを起動します」をクリックします。

【パソコン電子マニュアル】のトップ画面が表示されます。

ご参考

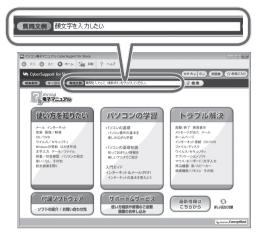
- ウェルカムセンターが表示されていないときは、(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「パソコン電子マニュアル」の順にクリックしても【パソコン電子マニュアル】を表示することができます。
- 【パソコン電子マニュアル】の使い方については ヘルプ をクリックして、ヘルプを参照してください。

活用

パソコンの学習
楽しみながらパソコンの基本操作を学習!!
使い方を知りたい
パソコンのさまざまな使い方を紹介!!
トラブル解決
トラブルの解決をお手伝い!!
パソコン電子マニュアル CyberSupport for Sharp
CyberSupport for Sharp
使い方を知りたい
メール インターネット
音楽 画像/映像
CD/DVD
ウイルス/セキュリティ
Windowsの更新 はがき作成
文字入力 データ/ファイル
容量/状態確認 パソコンの設定
使いこなし その他
設定画面を開く
パソコンの学習
パソコンの基礎
パソコン操作の基本を
楽しみながら学習
パソコンの基礎知識
知っておきたい情報を
楽しいアニメでご紹介
入門ガイド
インターネット＆メール(PDF)
インターネットの基本を覚えよう
トラブル解決
起動/終了 画面表示
メッセージが出た メール
ホームページ
インターネット接続 CD/DVD
ファイル/ディスク
ウイルス/セキュリティ
アプリケーションソフト
マウス/キーボード/文字入力
周辺機器 音/スピーカー
録画機能/リモコン その他
付属ソフトウェア
ソフトの紹介 / お問い合わせ先
サポート&サービス
使い方相談や修理のご依頼
廃棄のお申し込み
最新情報は
こちらから
詳しい目次に切替
付属ソフトウェア
付属ソフトウェアの概要やお問い合わせ先を紹介!!
最新情報はこちらから
この製品の最新情報をホームページで確認!!
インターネット
サポート&サービス
使い方相談や修理相談の窓口を紹介!!

活用

説明が載っていないか探す（検索）

1 **質問文欄に、質問の文を入力します。**

2 **「検索」をクリックします。**
検索結果が表示されます。
画面の左側に、質問文と類似度が高いタイトルが順にリスト表示されます。
画面の右側に、リストの一番上の情報が表示されます。

3 **見たいタイトルをクリックします。**
クリックしたタイトルの情報が画面の右側に表示されます。

活用

音楽や映像を楽しむ

このパソコンでデジタルカメラや携帯電話で撮影した画像を見たり、音楽 CD や DVD ビデオを楽しむことができます。

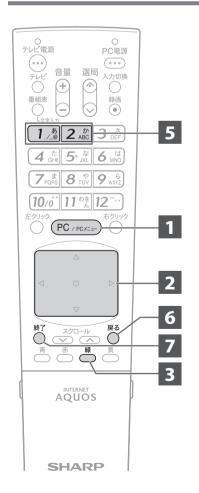
画像をパソコンに取り込もう

デジタルカメラや携帯電話で撮影した画像を取り込みます。IrSS™ に対応した携帯電話なら、赤外線通信により、パソコンに画像を取り込むことができます。

メモリーカード内の画像を取り込む

1 PC / PCメニュー を押します。

PC メニューが表示されます。

2 △◁○▷▽ のマウス操作で「フォト」を選び、△◁○▷▽ を押します。

「フォト」画面が表示されます。

3 緑 を押します。

「メモリーカードをセットしてください」と表示されます。

活用

4 デジタルカメラまたは携帯電話からメモリーカードを取り出し、パソコンのメモリーカードスロットに差し込みます。(☞85、86ページ)

メモリーカードの取り出し方法については、お使いのデジタルカメラまたは携帯電話の説明書を参照してください。

ご注意

マルチメディアカードを挿入しないでください。

- マルチメディアカードは使用できません。マルチメディアカードを差し込むと取り出せなくなり、故障の原因となります。
  お使いのデジタルカメラに内蔵のメモリーカードがマルチメディアカードの場合は、デジタルカメラとパソコンをケーブルで接続して画像を取り込んでください。ただし、専用のソフトウェアが必要な場合があります。
  操作方法について詳しくは、お使いのデジタルカメラの説明書を参照してください。

5 [1]または[2]を押します。

画像は、選択したフォルダに作成される撮影日ごとのフォルダに保存されます。メモリーカード内の画像は消去されません。

[1]:「ピクチャ」フォルダ
[2]:「パブリックのピクチャ」フォルダ

ご注意

- 画像コピー中は、メモリーカードを抜かないでください。
  故障の原因になったり、メモリーカードやデータが破損したりすることがあります。

6 [戻る]を押します。

「フォト」画面が表示されます。

7 [終了]を押し、終了します。

パソコンの画面が表示されます。

ご参考

- 「フォト」では、メモリーカード内のDCIMフォルダにある画像ファイルを取り込みます。DCIMフォルダがないときは、「デジタルカメラ用フォルダ(DCIM)が見つかりません」と表示されます。
- 以前に取り込んだ画像は、重複して取り込まれることはありません。

活用

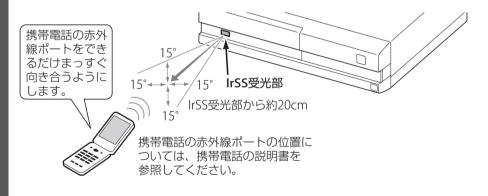
メモリーカードの画像がコピーできない場合

① デジタルカメラまたは携帯電話からメモリーカードを取り出し、パソコンのメモリーカードスロットに差し込みます。(☞ 85、86 ページ)
差し込み後しばらくすると、「自動再生」画面が表示されます。
②「画像の取り込み」をクリックします。
③［読み込み］をクリックします。
読み込んだ画像は、「ピクチャ」フォルダに保存されます。
「Windows フォトギャラリー」画面が表示されたときは、[x] をクリックします。
④ パソコンからメモリーカードを取り出します。

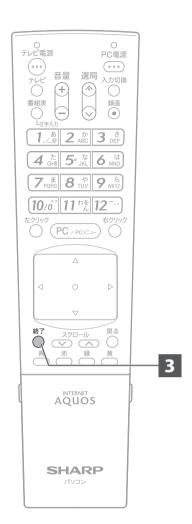
携帯電話内の画像を取り込む

IrSS™（高速赤外線通信）に対応している携帯電話で撮影した画像を赤外線通信で送信し、パソコンに保存できます。
IrSS に対応している携帯電話の機種については、インターネット AQUOS サポートページをご覧ください。
http://i-aquos.sharp.co.jp/

このパソコンで受信できるのは、JPEG 形式の画像ファイルです。

1 携帯電話の赤外線ポートをパソコンの IrSS 受光部に向けます。

ご参考

- パソコンは電源を入れて、パソコンの画面が表示された状態にしておいてください。

活用

2 携帯電話からパソコンに、IrSS（高速赤外線通信）で画像を送信します。

赤外線通信の方法は、携帯電話の説明書を参照してください。
受信した画像がパソコンの画面に表示されます。
2 枚以上受信した場合は、最後に受信した画像が表示されます。
画像は、「ピクチャ」フォルダに作成される撮影日ごとのフォルダに保存されます。

ご参考

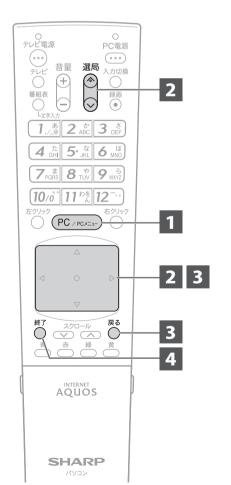
- 以前に取り込んだ画像は、重複して取り込まれることはありません。
- 携帯電話からの出力が禁止されている画像は、携帯電話から送信できません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話本体に挿入したメモリーカード（SD、mini SD、micro SD カードなど）に記録された画像を送信できないことがあります。この場合は、携帯電話の本体メモリーにいったんコピーまたは移動してから送信してください。
- 画像サイズ制限でコピーや移動ができなかったり、携帯電話側でデータ管理情報の更新をしないと携帯電話から送信できないことがあります。詳しくは携帯電話の説明書を参照してください。
- 通信中に直射日光などの強い光があたったり、他のリモコンの操作により赤外線があたったりした場合、その影響により画像の受信に失敗する場合があります。
- IrSS とは、IrSimple™ 1.0 規格準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）を表します。

3 終了○ を押し、終了します。

パソコンの画面が表示されます。

取り込んだ画像を見よう

パソコンに取り込んだ画像は、PC メニューの「フォト」からスライドショー形式で見ることができます。
スライドショーとは、フォルダにある写真を自動的に順番に表示する機能です。

1 （PC / PCメニュー）**を押します。**

PC メニューが表示されます。

2 （マウス）**のマウス操作で「フォト」を選び、**（マウス）**を押します。**

「フォト」画面が表示されます。

「フォト」画面には、「ピクチャ」および「パブリックのピクチャ」フォルダにある画像の入ったフォルダが、アルバム表示されます。

チャンネルメニューに次ページまたは前ページがある場合は、（選局）を押してページを切り換えます。

3 **でマウスポインターを見たいアルバムの上に移動し、を押します。**

スライドショー形式で画像が表示されます。

を触ると、スライドショーが中断してアルバムにある画像がサムネイル表示されます。

を指で左右になぞるとサムネイルがスライドします。画像を選び、を押すと、そのとき選択されていた画像からスライドショーが再開します。

スライドショーの途中で「フォト」画面に戻るには、戻る を押します。

ご参考

- スライドショーの表示中は、BGM が流れます。
  ご購入時の状態では、あらかじめこのパソコンにフォト専用の BGM として用意された音楽が流れます。
  BGM は、リモコンの スクロール で次の曲に進んだり、前の曲に戻ることができます。
- 自分の好きな曲を BGM として流すこともできます。好きな曲を BGM で流したいときは、曲をパソコンに取り込むときに MP3 形式で取り込み、「ミュージック」フォルダにファイルを直接保存します。
  「フォト」の BGM は、ミュージックフォルダの MP3 形式の音楽ファイルを優先して再生するため、ミュージックフォルダに MP3 形式の音楽ファイルを保存した時点で、フォト専用 BGM は流れなくなります。
- BGM を停止／再生したいときは 青 を押します。
- 緑 を押すとスライドショーを一時停止し、画像の詳細情報を表示します。
- スライドショーを一時停止／再開するときは を押すか、左クリック または 5 を押します。

4 **終了 を押し、終了します。**

パソコンの画面が表示されます。

画像を印刷するには

印刷したい画像の表示中に、赤 を押します。

画面の指示に従い、プリンター選択、印刷範囲などを設定後、印刷してください。

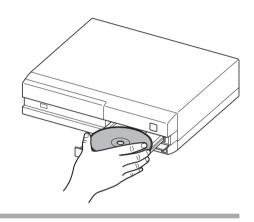
活用

音楽 CD を聴こう

内蔵の CD/DVD ドライブおよび Windows Media Player で、音楽 CD を聴くことができます。

1 音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。

ディスクが認識されると、Windows Media Player が起動し、自動的に再生が始まります。

ご参考

- ディスクが認識されるまで、10 秒以上かかります。

「Windows Media Player 11」をはじめて起動したときは

はじめて起動したときには、セットアップ(初期設定)が必要です。はじめて起動したときに表示される「Windows Media Player 11 for Windows Vista へようこそ」の画面で、「高速設定」をクリックし、[完了] をクリックします。

活用

動作を選択する画面が表示されたときは･･･

音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットしたときの動作を設定します。

①「オーディオ CD に対しては常に次の動作を行う：」をクリックしてチェックマークを付ける。
②「オーディオ CD の再生」をクリック。

この設定により、音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。

2 リモコンの 音量 を押して、お好みの音量に調節します。

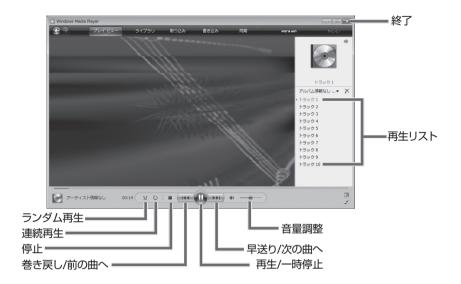
再生する曲を変更するには･･･

Windows Media Player が起動すると、自動的に音楽 CD の 1 番目の曲が再生されます。曲の再生が終了したら、自動的に次の曲が再生されます。複数の曲が音楽 CD に収録されている場合、別の曲を再生するには、以下の手順に従ってください。

① ■ をクリックして、曲の再生を停止します。
② |◀◀ ▶▶| をクリックして再生リストから再生したい曲を選択します。
③ ▶ をクリックします。
選択した曲が再生されます。

再生リスト

3 再生が終了したら、 をクリックして Windows Media Player を終了します。

Windows Media Player の操作画面について

ランダム再生 / 連続再生について

- 、 をクリックしてランダム再生・連続再生のオン／オフを切り換えます。各ボタンのオン／オフを組み合わせて、再生のしかたを次のように切り替えることができます。

	（連続再生オン）	（連続再生オフ）
（ランダム再生オン）	再生リストの曲がランダムに再生され、一巡した後もランダム再生が続く	再生リストの曲がランダムに再生され、一巡したら停止する
（ランダム再生オフ）	再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると最初の曲に戻って連続再生される	再生リストの順に再生され、最後の曲が終わると停止する

ご参考

- 音楽 CD 再生時に、リモコンの 再生 や 一時停止 などの再生操作用ボタンを使って操作することもできます。
- Windows Media Player に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】（☞ 92 ページ）の「付属ソフトウェア」―「お問い合わせ先」でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

活用

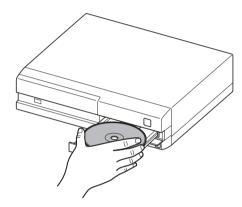
曲をパソコンに取り込もう

音楽 CD の内容を Windows Media Player でパソコンに取り込むことができます。取り込んだ音楽は、パソコンで再生したり、オリジナル音楽 CD を作成するときに利用できます。

ご参考

- CD 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CD のパッケージや印刷物で確認してください。

1 音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。

ディスクが認識されると、Windows Media Player が起動します。

2 自動的に再生が始まったら、■（停止）をクリックしていったん再生を停止します。

3 曲を選択してパソコンに取り込みます。

① 「取り込み」タブをクリック。
② 取り込まない曲をクリックしてチェックマークを外す。
③ ［取り込みの開始］をクリック。

ご参考

- はじめて音楽 CD から曲を取り込むときには、「取り込みオプション」画面が表示されます。オプションを選択し、「CD から取り込む音楽が、米国および各国の著作権法ならびに国際条約で保護されていること、および取り込んだ者自身が、それを適切に使用する上でのすべての責任を負うことを理解している」にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。この著作権事項の内容に同意してチェックマークを付けないと、曲を取り込むことはできません。
- ファイル形式を MP3 などに変更して曲を取り込むときには、「取り込み」タブの [▽] をクリックし、「形式」からファイル形式をクリックします。

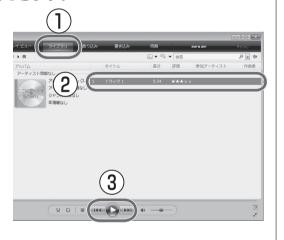
4 **終了するときは、右上の ✕（閉じる）をクリックします。**

ご参考

- 音楽CDから曲を取り込むと、「ミュージック」フォルダに取り込んだ音楽CDのフォルダが作成され、音楽ファイルはこの音楽 CD のフォルダに保存されます
- Windows Media Player の詳しい操作については、Windows Media Player のヘルプを参照してください。ヘルプは、F1 キーを押すと表示できます。
- Windows Media Player に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、**【パソコン電子マニュアル】**（☞ 92 ページ）の**「付属ソフトウェア」**—**「お問い合わせ先」**でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

取り込んだ曲を再生するには

次の操作で、取り込んだ曲を再生できます。

① Windows Media Playerの「ライブラリ」タブをクリック。
② 詳細ウィンドウ領域で曲をクリック。
③ ▶（再生）をクリック。

DVD ビデオを見よう

内蔵の CD/DVD ドライブおよび WinDVD for Sharp（付属ソフト）を使って、DVD ビデオを見ることができます。

DVD ビデオを再生するときの準備

再生時にスムーズに表示されなくなることを避けるために、再生する前に次の準備をしてください。

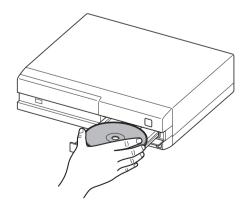
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。

ご参考

- DVD ビデオや、再生時に動作している他のソフトの状態によっては、コマ落ち（音声や映像が一瞬途切れる）などにより、スムーズに表示されない場合があります。
- DVD ビデオによっては、録音レベルが低く設定され、音量を最大にしても音が小さいものがあります。
- CPRM 方式で著作権保護されたディスクは再生できません。
- デジタルビデオカメラで撮影し、HDV 形式および AVCHD 形式で記録された DVD ビデオは再生できません。
- 著作権保護された DVD ディスクを再生しているときに、入力切換をしたり、テレビの電源を切ったりすると、再生が停止することがあります。そのようなときは、いったん WinDVD for Sharp を終了させてから、再生し直してください。

1 **DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットします。**

ディスクが認識されると、WinDVD for Sharp が起動し、自動的に再生が始まります。

活用

- ディスクが認識されるまで、10 秒以上かかります。
- 両面が再生できる DVD ビデオの場合は、再生面の表記（Side A など）がある面を上（縦置きの場合は左）にしてセットしてください。
- すでにディスクがセットされているときなど、自動的に再生が始まらないときは、以下の方法で再生してください。
  ① （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」をクリックします。
  ②「InterVideo WinDVD」をクリックします。
  ③「InterVideo WinDVD for Sharp」をクリックします。
  WinDVD for Sharp が起動し、再生が始まります。
  自動再生画面などが表示された場合は、 をクリックします。

動作を選択する画面が表示されたときは…

DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットしたときの動作を設定します。

①「DVD ムービーに対しては常に次の動作を行う：」をクリックしてチェックマークを付ける。

②「DVD ムービーの再生ー InterVideo WinDVD 使用」をクリック。

この設定により、DVD ビデオを CD/DVD ドライブにセットすると、自動的に再生が始まるようになります。

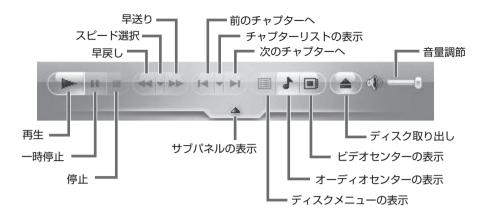
2 リモコンの 音量 を押して、お好みの音量に調節します。

3 ディスクメニューが表示されたときは、項目をクリックします。

をクリックして、ディスクメニューを表示することもできます。

4 再生が終了したら、画面をダブルクリックしてから をクリックして WinDVD for Sharp を終了します。

リモコンの 終了 を押して、WinDVD for Sharp を終了することもできます。

プレーヤーパネルについて

ご参考

- 全画面表示のときは、プレーヤーパネルは表示されません。画面上をクリックすると、プレーヤーパネルが表示されます。
- 次のいずれかの操作で、全画面表示とウィンドウ表示を切り替えることができます。

  ・ビデオ画面上をダブルクリックする。

  ・ Z キーを押す。
- DVD ビデオ再生時に、リモコンの 再生 や 一時停止 などの再生操作用ボタンを使って操作することもできます。
- WinDVD for Sharp の操作については、WinDVD for Sharp のヘルプを参照してください。ヘルプは、F1 キーを押すと表示できます。
- 一時停止後、再生を再開すると画面が一瞬途切れることがあります。
- WinDVD for Sharp に関しては、シャープまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、【パソコン電子マニュアル】(☞ 92 ページ)の「付属ソフトウェア」—「お問い合わせ先」でご確認いただくか、サポートのご案内 をご覧ください。

活用

DVD のリージョン番号について

DVD ビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号： ②ALLなど）が設定されています。

ご参考

- ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。（リージョン番号は、DVD ビデオディスクに記載されています。）
- 国内で制作・販売されている DVD ビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありません。
- リージョン番号を変更できるのは 4 回までです。
- 変更を必要とする場合は、「WinDVD for Sharp」のヘルプを参照してください。

ドルビーデジタルサラウンド(5.1チャンネル)を楽しむには

市販の光デジタルオーディオケーブルでドルビーデジタルサラウンド方式に対応した AV アンプやスピーカーなどを接続し、臨場感あふれる音で DVD ビデオをお楽しみいただけます。
次の操作で、5.1 チャンネルで録音された DVD ビデオの音声を 5.1 チャンネルで出力します。

① （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「サウンド」をクリック。
②「再生」タブの「Realtek Digital Output」をクリックし、［OK］をクリック。
③ 画面右上の をクリックして、「ハードウェアとサウンド」画面を閉じる。
④ （スタート）をクリックし、「InterVideo WinDVD」－「InterVideo WinDVD for Sharp」の順にクリック。
WinDVD for Sharp が起動します。
⑤ プレーヤーパネルの を をクリック。
⑥ をクリック。
⑦「オーディオ」タブの「オーディオ出力構成」で「外部プロセッサへのデジタル（S/P DIF）出力」をクリックし、［OK］をクリック。
⑧ をクリックしてオーディオセンターを閉じる。

オリジナル音楽CDやDVDを作る

このパソコンでは、オリジナルの音楽CDやDVDビデオを作成できます。
また、このパソコンにVHSテープやデジタルビデオカメラの映像を取り込むことができます。

使用するディスクについて

CD-R	オリジナル音楽CDの作成やデータのバックアップに使用します。容量が650MB(音楽74分相当)のものと、700MB(音楽80分相当)の2種類があります。再生に使用するCDドライブによっては、700MBのCD-Rを再生できない場合があります。 映像を納めたビデオCD（VCD）やスーパービデオCD（SVCD）の作成にも利用できます。ただし、ビデオCDやスーパービデオCDは、それぞれに対応したパソコンやDVDプレーヤーでしか再生できません。
CD-RW	CD-Rと同じ容量を持つディスクです。約1000回程度、書き込んだデータを消去して書き換えることができます。データのバックアップに適しています。オリジナル音楽CDも作成できますが、CD-RWに対応したプレーヤーでしか再生できません。オリジナル音楽CDはCD-Rで作成することをお勧めします。
DVD-R DVD+R	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。データの書き換えはできません。 ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。
DVD-RW DVD+RW	DVDビデオの作成やデータのバックアップに使用します。DVD-R、DVD+Rと同じ容量を持つディスクです。書き込んだデータを消去して、書き換えることができます。ファイナライズ処理を行うと、市販のDVDプレーヤーでも再生できます。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RWやDVD+RWを再生できないものもありますので、注意してください。
DVD-RAM	約10万回、書き込んだデータを消去して、書き換えることができるディスクです。片面カートリッジ式、両面カートリッジ式、非カートリッジ式の3種類があります。DVDビデオとは異なった形式で映像を記録します。市販のDVDプレーヤーには、DVD-RAMに対応していないものもありますので、注意してください。

※推奨ディスクについては、「**CD/DVDドライブ対応ディスク一覧**」(☞177ページ)を参照してください。また、保存するディスクの種類、保存後のディスクの用途によって、使用するディスクは異なります。詳しくは、**【パソコン電子マニュアル】**(☞92ページ)の「**使い方を知りたい**」ー「**CD/DVD**」を参照してください。
※8cmディスク用の変換アダプター、特殊形状(ハート形や八角形、名刺型など)やDVD Slim discなどの規格外ディスクは使えません。
※8cmディスクの読み込みは本体を横置きにしたときのみ可能です。また、8cmディスクへの書き込みは横置き時、縦置き時ともにできません。
※次のDVD-RAMは使用できません。
　・片面2.6GBのDVD-RAM、両面5.2GBのDVD-RAM
　・カートリッジから取り出せないタイプのDVD-RAM
※CPRMで著作権保護された映像を録画したディスクの場合、DVD MovieWriterでは追記/再編集はできません。

マイベスト CD を作ろう

複数の音楽 CD からお気に入りの曲だけを 1 枚の CD-R にまとめた、マイベスト CD を作成できます。

準備するもの

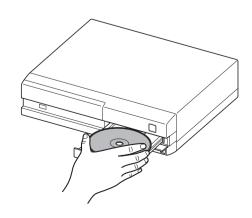
- 未使用の CD-R
- お気に入りの曲が入った音楽 CD

ご参考

- CD-RW でも、オリジナル音楽 CD を作成できます。ただし、CD プレーヤーが CD-RW に対応していない場合は、再生できません。オリジナル音楽 CD は、CD-R で作成することをお勧めします。
- CD 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）の場合、音楽をパソコンに取り込むことができません。CDのパッケージや印刷物をよくお読みください。
- CD-R に対応していないプレーヤーでは再生できないことがあります。

ご注意

- テータの取り込み / 書き込みの操作前は、関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了してください。
- データの取り込み / 書き込み中は、必要なとき以外、操作ボタンやキーを押さないでください。

1 **音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。**

ご参考

- 「自動再生」画面が表示されたときは、[×] をクリックして画面を閉じます。
- 音楽 CD が認識され 、「Windows Media Player」が起動して 、再生が始まった場合 、画面右上の [×] をクリックし、「Windows Media Player」を閉じます。

2 操作画面を表示します。

① (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「Roxio」－「Easy Media Creator」－「Home」の順にクリック。

②「プロジェクトパネル」から「オーディオ」をクリックし、「カーオーディオやホーム CD プレイヤーで再生可能なオーディオ CD を作成」をクリック。

ご参考

- 「Roxio Easy Media Creator」をはじめて起動したときは、「製品の登録」画面が表示されます。内容をお読みのうえ、製品の登録またはキャンセルを選択します。
  製品の登録をする際には、インターネットへの接続が必要です。

3 お気に入りの曲を取り込みます。

①[音楽を追加] をクリック。
「音楽ファイル」画面が表示されます。

② 保存場所の「コンピュータ」を開いて、「CD/DVD ドライブ」の「Audio CD (または「音楽 CD」)」を選択し、[追加]をクリック。

③ CD に書き込みたい曲を選択してクリックし、[追加] をクリック。
複数の曲を選択するには、**Ctrl** キーを押しながら選択したい曲をクリックします。
取り込まれた曲 (Track) が操作画面に一覧表示されます。

- **続けて別の音楽 CD から曲を書き込みたいときは**
  取り込まれた曲の一覧が表示されたら、CD/DVD ドライブから音楽 CD を取り出し、別の音楽 CD を入れ替えてセットし、②〜③と同じ操作を繰り返して、書き込みたい曲を追加します。
- **曲のタイトルを変更したいときは**
  曲名をダブルクリックして表示されるプロパティの編集画面で、トラックタイトルを変更し、［OK］をクリックします。
- **曲順を変更したいときは**
  取り込んだ曲 (Track）の一覧から入れ替えたい曲をクリックして選択し、 または をクリックして順番を入れ替えます。
- **選んだ曲を削除したいときは**
  不要な曲をクリックして選択し、 をクリックしてください。

4 書き込みます。

① CD/DVD ドライブから音楽 CD を取り出し、書き込み先の新しい CD-R をセット。

② をクリック。

③［はい］をクリック。
書き込みが完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」と表示され、CD/DVD ドライブのトレイが自動的に出てきます。

5 終了します。

① CD/DVD ドライブから CD-R を取り出し、 完了(D) をクリック。

② をクリック。
次のメッセージが表示された場合は、［いいえ］をクリックしてください。
・「このプロジェクトには他のディスクからコピーされたファイルが含まれているため、保存できません。…」
・「現在のオーディオ CD プロジェクトを保存しますか？」

③ ▲（取出し）ボタンを押して、トレイを閉じる。

活用

デジタルビデオカメラの映像を取り込もう

Ulead DVD MovieWriter 5 SEでデジタルビデオカメラの映像をハードディスクに保存することができます。

ご注意

- データの取り込み / 書き込みの操作前には、関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了してください。
  また、ウイルスバスターの予約検索の設定を確認してください。データの取り込み / 書き込み中にウイルスバスターの検索が始まると、取り込んだ映像にコマ落ちが発生することがあります。
- データの取り込み / 書き込み中は、必要なとき以外、操作ボタンやキーを押さないでください。

ご参考

- デジタルビデオカメラの映像を直接 DVD に録画して DVD ビデオを作成することもできます。
  【パソコン電子マニュアル】（☞ 92 ページ）の「使い方を知りたい」―「画像／映像」を参照してください。

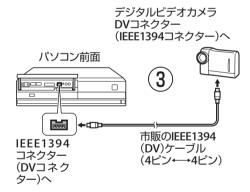
1 デジタルビデオカメラを接続します。

パソコンとデジタルビデオカメラを接続するときは、デジタルビデオカメラの説明書に従って操作してください。

① デジタルビデオカメラを電源コンセントに接続する。

② デジタルビデオカメラに、あらかじめ映像データの保存されている DV テープやメモリーカードなどをセットし、再生モードにする。

③ IEEE1394（DV）ケーブルの一方をパソコン前面の IEEE1394 コネクターに差し込み、もう一方をデジタルビデオカメラの DV コネクターに差し込む。

「自動再生」画面が表示されたときは [x] をクリックします。

ご参考

- HDV 形式および AVCHD 形式で記録された映像は取り込めません。
- テレビ番組を録画する前には IEEE1394 機器を取り外してください。また、テレビ番組を録画しているときは、IEEE1394 機器の接続や取り外しをしないでください。正しく録画されないことがあります。
- IEEE1394 コネクターに i.LINK (TS) 対応機器を接続することはできません。また、テレビの i.LINK (TS) 端子と接続しても、映像信号を録画することはできません。

活用

2 操作画面を表示します。

①（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 5 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 5 Launcher」の順にクリック。

②「インポート」をクリックし、「デバイスからキャプチャ」をクリック。

3 モードを設定します。

「設定した時間キャプチャ」:
時間入力欄（デュレーション）に入力した時間だけ映像をキャプチャーします。

「デュレーション」に時間を入力しない場合は、ディスクの空き容量いっぱいまで記録できる時間が、キャプチャー時間に設定されます。任意の場所で、キャプチャーを停止したいときは、「デュレーション」を「0:00:00.00」のままにしておきます。

映像の頭出しは、操作パネルのボタンを使って、取り込みたい映像まで進め、 をクリックして一時停止します。
映像は、プレビューウィンドウで確認できます。

「フル DV テープ（ビットレート自動）」:
DV テープ 1 本分の映像を、そのまま取り込む場合に選択します。
自動 DV テープの先頭まで巻き戻してオートスキャンし、ディスクがいっぱいになるビットレートを自動で設定して、映像をキャプチャーします。

活用

4 画像を取り込みます。

① をクリック。
キャプチャが始まります。

② 手順 **3** で、モードを「設定した時間キャプチャ」、デュレーションを「0:00:00.00」に設定した場合は、キャプチャーを終わる場面で をクリック。

③［OK］をクリック。
キャプチャーが終わると、[OK] ボタンが、 OK から OK に変わり、クリックできるようになります。

5 終了します。

①［閉じる］をクリック。

②「現在のプロジェクトを保存しますか。」画面が表示されたら［いいえ］をクリック。

③ をクリック。

ご参考

- 取り込んだ映像は、ご購入時の設定では、「ドキュメント」フォルダの「Ulead DVD MovieWriter」—「5」—「キャプチャ」に保存されています。

活用

ハードディスクに保存した映像を DVD にしよう

デジタルビデオカメラなどからハードディスクに保存した映像を DVD ビデオにすることができます。作成した DVD ビデオは、市販の DVD プレーヤーで再生できます。ここでは例として DVD-R、DVD+R を使用します。

Ulead DVD MovieWriter 5 SE と対応するディスクについて

ディスクの種類によって作成可能なフォーマットは異なります。Ulead DVD MovieWriter 5 SE で作成できるフォーマットは以下のとおりです。

	DVD-R	DVD-RW※1	DVD+R	DVD+RW※1	DVD-RAM※1
DVD-Video（ビデオモード）	○	○	○	○	×
DVD-VR（VR モード）	×	○※2	×	−	○
DVD+VR（+VR モード）	×	−	×	○	×

※ 1 ディスクへの追記／再編集ができます。（CPRM で著作権保護された映像を録画したディスクを除く）

※ 2「WinDVD for Sharp」（付属ソフト）や DVD プレーヤー、DVD レコーダーで再生する場合は、ファイナライズ処理をしてください。

ビデオモード： 再編集には適しませんが、多くの DVD プレーヤー（市販）で再生可能です。

VR/+VR モード： 不要部分のカットなど、再編集できます。

- DVD プレーヤーなどで再生するときは、あらかじめ再生機器の説明書などを参照して、再生機器に対応したディスク／フォーマットで DVD を作成してください。
- お使いの再生機器によっては、作成した DVD ビデオを再生できないことがあります。
- 録画したテレビ番組は DVD ビデオにできません。また、ダビングもできません。

準備するもの

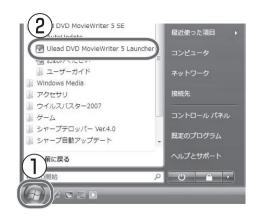
- 未使用の DVD-R または DVD+R

ご注意

- データの取り込み / 書き込みの操作前には、関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了してください。
  また、ウイルスバスターの予約検索の設定を確認してください。データの取り込み / 書き込み中にウイルスバスターの検索が始まると、取り込んだ映像にコマ落ちが発生することがあります。
- データの取り込み / 書き込み中は、必要なとき以外、操作ボタンやキーを押さないでください。

活用

1 DVD MovieWriter 5 SE を起動します。

① （スタート）をクリック。
②「すべてのプログラム」－「Ulead DVD MovieWriter 5 SE」－「Ulead DVD MovieWriter 5 Launcher」の順にクリック。

2 作成方法を選択します。

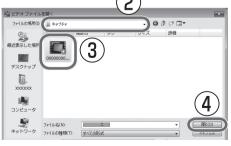
① ビデオディスクをクリックし、「新規プロジェクト」をクリック。

②「ビデオディスクを作成」欄の「DVD」を選択し、［OK］をクリック。

ご参考

- ディスクに保存した後で映像を編集したいときは、保存先のディスクは、DVD-RAM または DVD-RW を用意し、「編集可能なディスクを作成」欄の「DVD-RAM/RW」を選択して、［OK］をクリックします。

3 DVD にする映像ファイルを選択します。

① をクリック。
②「ファイルの場所」を指定する。
映像ファイルを保存したフォルダを指定します。
③ 映像ファイルをクリック。
④［開く］をクリック。
映像リストに、選択した映像が追加されます。

ご参考

- ①～③の操作を繰り返して、複数の映像ファイルを追加することができます。
- 間違った映像ファイルを選択した場合は、映像リストの映像をクリックし、 をクリックして映像リストから削除します。
※映像リストの映像を削除しても、ハードディスクに保存している元の映像は削除されません。

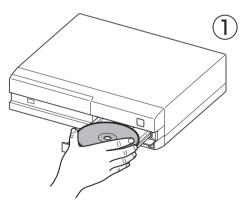
4 「メニューを作成」をクリックして、チェックマークを外し、[次へ] をクリックします。

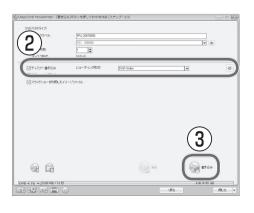
「メニューを作成」にチェックマークが付いていると、取り込んだ映像にタイトルを付けることができます。
複数のファイルを取り込んだときには、それぞれ別のタイトルが付けられます。

5 仕上がりの状態を確認します。

① [▶] をクリックして、プレビューを表示。
② 映像が確認できたら、[■] をクリック。
③ [次へ] をクリック。

6 ディスクへ書き込みます。

① CD/DVD ドライブに DVD-R または DVD+R をセットする。
ディスクが認識されると、CD/DVD ドライブ欄の「ディスク形式」の表示が、「ディスクが挿入されていません」から、セットしたディスク（ここでは「DVD-R」または「DVD+R」）に変わります。

②「ディスクへ書き込み」にチェックマークが付き、レコーディング形式に「DVD-Video」が選択されていることを確認します。
書き込むディスクと作成可能なレコーディング形式は、「**Ulead DVD MovieWriter 5 SE と対応するディスクについて**」（☞ 117 ページ）を参照してください。

活用

③ ［書き込み］をクリック。

「この作業を実行するとレンダーに時間がかかります。続行しますか？」というメッセージが表示された場合は、［OK］をクリックします。
ディスクへの書き込みが開始されます。
書き込み中には、進行状況が画面に表示されます。

書き込みが終わると「操作が完了しました。」というメッセージが表示されます。

7 作業を終了します。

①「プロジェクトファイルを保存せずに DMW を終了し、ラウンチャを実行します。」が選択されていることを確認して、［OK］をクリック。

作業を終了するときには、ここでプロジェクトファイル（これまでの作業内容を保存したファイル）を保存するかどうかを選択して、終了することができます。
これまでの作業内容を保存して終了するときは、「プロジェクトファイルを保存して DMW を終了し、ラウンチャを実行します。」をクリックし、保存場所を指定して、内容のわかるファイル名をつけて、［保存］をクリックします。
続けて同じディスクをもう一枚作成するときは、「作業を続行して完了ページに戻ります。」を選択します。

② DVD ディスクを取り出す。

作業を終了すると、自動的に CD/DVD ドライブが開きます。ディスクを取り出し、CD/DVD ドライブを閉じます。

ご参考

- プロジェクトファイルを保存しておくと、そのファイルを読み込んで同じ内容の DVD を作成したり、追加の編集を行って別の DVD を作成したりすることができます。

8 Ulead DVD MovieWriter 5 SE を終了します。

をクリック。

活用

テレビとパソコンを同時に楽しむ（2 画面表示）

2 つの異なる映像を左右に同時に表示できるテレビでは、テレビとパソコンを 2 画面表示することもできます。ただし、2 画面表示にすると、パソコン画面は縮小表示となり、文字が読みにくくなります。
2 画面表示にする前に、以下の手順で、パソコンの画面を 2 画面表示に適した画面サイズに変更してください。

1 **デスクトップの をダブルクリックします。**

「2 画面その前後に」画面が表示されます。

2 **「はい」をクリックします。**

テレビの 2 画面表示に適した画面サイズに変更されます。

3 **テレビのリモコンで 2 画面表示に変更します。**

元の表示に戻すには

1 **テレビのリモコンで、2 画面表示から通常画面に戻し、パソコンの画面を表示します。**

2 **デスクトップの をダブルクリックします。**

「2 画面その前後に」画面が表示されます。

3 **［OK］をクリックします。**

活用

困ったときは

故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows やソフトウェア、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容および下記の説明書やヘルプを参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。

- 【パソコン電子マニュアル】（☞ 92 ページ）の「トラブル解決」
- インターネット AQUOS サポートページ（**http://i-aquos.sharp.co.jp/**）
- （スタート）をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのソフトウェアや周辺機器の説明書、ヘルプ

テレビに関するトラブルについては、テレビに付属の かんたん！！ガイド や 取扱説明書 を参照してください。

それでも問題が解決しないときは

システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。詳しくは、「**Windows のシステムを修復する**」（☞ 134 ページ）を参照してください。
それでも問題が解決しないときは、一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。 詳しくは、「**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**」（☞ 140 ページ）を参照してください。

困ったときは

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
Windows が起動しない	● AC アダプターと電源コードが正しく接続されているか確認してください。 ● 主電源スイッチが「入」になっているか確認してください。 ● テレビの電源が切れていないか確認してください。 ● いったん主電源を切って、HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 38 ページ）
「DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER」または「MISSING OPERATING SYSTEM」と表示される	● 再インストールを中断または失敗したとき、およびハードディスクのデータを消去したときは、これらのメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを押して電源を切り、ハードディスク全体を再インストールし直してください。電源を入れたあと、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されるときは、ハードディスクから再インストールすることができます。「Press F4 to Recover」が表示されないときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが削除されていますので、リカバリ CD/DVD から再インストールしてください。再インストール手順については、「**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**」（☞ 140 ページ）を参照してください。
Windows 起動時の音が途切れる	● パソコンの故障ではありませんので、動作に影響はありません。

表示に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
画面が表示されない	● HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 38 ページ） ● スリープから復帰したときに画面が表示されない場合は、テレビの電源ランプを確認してください。テレビの電源ランプが赤色に点灯している場合は、テレビの電源が切れていますので、リモコンの テレビ電源 を押してテレビの電源を入れてください。 ● テレビおよびパソコンの電源が入っているか確認してください。 ● テレビの入力切換が「PC-AX Series」になっているか確認してください。 ● 上記すべての操作をしてもだめなときは、「**キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない**」（☞次ページ）の 7 項目めの操作をしてください。
画面が自動的に消える	● 一定時間パソコンを操作しないでいると、省電力機能が働いてスリープに移行し、画面が消えます。リモコンの PC電源 または、キーボードやパソコンの［電源］を押すと、スリープから復帰し画面が表示されます。 ● テレビの省エネ機能を設定していないか確認してください。 ● 電源オプションの設定で「ディスプレイの電源を切る」を「なし」以外に設定した場合、リモコンの PC電源 を押して画面を表示させても、数秒後に再び画面が消えてしまうことがあります。このようなときは、リモコンの （タッチパッド）を押して画面を表示させるようにしてください。
パソコンの起動／終了時に画面が乱れることがある	● パソコンの起動または終了時に、画面が一瞬乱れたり、画面の一部が欠けることがありますが、故障ではありません。

困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
2 画面表示されない **2 画面表示時に画面が欠ける**	● 2 画面表示をするときは、「2 画面その前後に」で設定してください。（☞ 121 ページ）

キーボード・タッチパッドに関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない	● キーボードがパソコンと離れすぎていることがありますので、近づいて操作してみてください。 ● キーボード裏面の電源スイッチが「ON」側になっているか確認してください。 ● キーボードの乾電池の向きを確認してください。（☞ 接続と準備編 28 ページ） ● キーボードの乾電池をいったん取り外し、約 30 秒後に再び取り付けてください。 ● キーボードの乾電池が消耗していないか確認してください。 ● パソコンが起動したとき／スリープまたは休止状態から復帰したときは、しばらくの間（10 ～ 20 秒）キーボードやタッチパッド、リモコンの操作が効かないことがあります。 ● 以下の手順に従って操作してください。 ① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押します。 Delete Ctrl Alt ②「タスクマネージャの起動」をクリックします。 ③「タスク」欄から動かなくなったソフトウェアを選択し、[タスクの終了] をクリックします。問題が発生していると、そのソフトウェアの状態欄には「応答なし」と表示されていることがあります。 ④ 上記の操作をしてもだめなときは、⊖/⊗ ランプが点灯していないことを確認した上で、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。電源ランプが消えたことを確認し、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。 ● 上記の操作をしてもだめなときは、以下の手順に従って操作してください。 ① ⊖/⊗ ランプが点灯していないことを確認した上で、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。 ② 主電源を切ります。（25 ページの手順 **2** ～ **4** の操作を行います。） ③ 10 秒以上間隔をおいて主電源を入れ、電源を入れます。（☞ 19 ページ）

こんなときは	ここをお確かめください
キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない（つづき）	● 以下の手順に従って、ペアリング調整をしてください。 ペアリング調整とは、パソコンとキーボードを同調させる調整のことです。 通常は必要ありませんが、キーボードが突然反応しなくなったときなどに必要です。 ① 電源が入っている状態で、パソコン前面のペアリングスイッチ（キーボード）を先の細いもの（クリップを伸ばしたようなもの）で押します。 パソコン前面 ペアリングスイッチ カードアクセスランプ カードアクセスランプがゆっくりと赤色で点滅します（このときパソコンにメモリーカードが挿入されていると、ランプは緑色と赤色で交互に点滅します。） ② キーボードをパソコンの前面に置き、キーボード裏側のペアリングボタンを押します。 ペアリングボタン カードアクセスランプの点滅が早くなり、点滅が終わったらペアリング調整は完了です。

リモコンに関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
リモコンで操作できない	● テレビの操作ができないときは、リモコンの テレビ操作 を押してから操作してください。 パソコンの操作ができないときは、リモコンの PC操作 を押してから操作してください。 ● リモコンの乾電池の向きを確認してください。 （☞ 接続と準備編 26 ページ） ● リモコンの乾電池をいったん取り外し、約 30 秒後に再び取り付けてください。 ● リモコンの乾電池が消耗していないか確認してください。 リモコン操作の一部ができていても乾電池が消耗していることがあります。 ● テレビを操作するときは、リモコンをテレビの受光部に向けて操作してください。また、受光部と離れすぎていることもありますので、近づいて操作してみてください。（☞ 接続と準備編 27 ページ） ● リモコンのボタンを押して画面やメニューが表示されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。故障ではありませんので、しばらく待って操作してください。 ● Windows 起動時に、デスクトップが表示され、操作可能になるまでに少し時間（約 10 分）がかかることがあります。 ● 一定時間、リモコンの操作をしないでいると、省電力状態になります。省電力状態のときはタッチパッドでの操作が効かなくなります。（タッチパッド中央）を押して省電力状態を解除してください。 ● 「WinDVD for Sharp」や「Windows Media Player」、「Windows Media Center」が表示されているときに 再生 を押しても、録画番組は再生されません。ワンタッチ再生をするときは、これらのソフトウェアを終了させてから、再生 を押してください。 ● 他のソフトウェアのメッセージが表示された場合などに、それまでリモコンで操作していた画面が操作対象から外れてリモコン操作ができなくなることがあります。このとき、全画面表示されていたときは、画面下部にタスクバーが表示されることもあります。 このようなときは、操作していたソフトの画面上で 左クリック を押してから操作し直してください。

こんなときは	ここをお確かめください
リモコンで操作できない（つづき）	● 入力切換 でテレビ画面からパソコン画面に切り換えたときは、(PC／PCメニュー) を押してください。 ● リモコンをレコーダー操作モードに設定している場合は、乾電池を交換するとレコーダー操作モードが解除されることがあります。再度、レコーダー操作モードに設定してください。(☞ ファミリンク機能／録画機能編 16 ページ) ● **リモコンのペアリング調整** 以下の手順に従って、ペアリング調整をしてください。 ペアリング調整とは、パソコンとリモコンを同調させる調整のことです。 通常は必要ありませんが、リモコンが突然反応しなくなったときなどに必要です。 ① 電源が入っている状態で、パソコン前面のペアリングスイッチ（リモコン）を先の細いもの（クリップを伸ばしたようなもの）で押します。 パソコン前面 ペアリングスイッチ カードアクセスランプ カードアクセスランプがゆっくりと赤色（このときパソコンにメモリーカードが挿入されていると、緑色と赤色）で点滅します。 ② リモコンのフタの中にある 早戻し と 早送り を同時に押します。このとき、リモコンをパソコンに近づけて、タッチパッドには触れないようにしてください。 カードアクセスランプの点滅が早くなり、点滅が終わったらペアリング調整は完了です。

困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
リモコンで操作できない（つづき）	● タッチパッドの初期化 リモコンのタッチパッド（ ）の動きがおかしくなったときは、リモコンのフタの中にある 早戻し を押しながら 選局 の を押してください。 このとき、タッチパッドには触れないようにしてください。 リモコンのフタの中　リモコン上部

CD・DVD に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
CD/DVD ドライブが開かない	● パソコンの電源が入っているか確認してください。 ● 市販の CD/DVD ライティングソフトなど、ドライブを制御するソフトウェアを使用しているときは、ドライブの取出しボタンを押してもドライブが開かないことがあります。そのソフトウェアを終了するか、またはソフトウェアから取り出し操作をしてください。 ● 上記の操作をしてもドライブが開かないときは、下記の操作をして開いてください。 （通常はこの方法で開けないでください。） ① シャットダウンでパソコンの電源を切ります。 ② CD/DVD ドライブのカバーを手前に開きます。 カバー

困ったときは

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここをお確かめください</th></tr>
<tr><td>CD/DVD ドライブが
開かない（つづき）</td><td>③カバーを開いたままの状態にして、ドライブの下にある丸い穴に、クリップを伸ばしたような細長いもの（6cm 以上あるもの）を差し込んで、奥に押し込みます。
トレイの一部が出てきます。
6cm 以上

④トレイの両端に指をかけて、ゆっくり手前に引き出します。</td></tr>
</table>

インターネット／通信に関するトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
インターネットに接続できない	● パソコンとブロードバンドルーターが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 41 ページ） ● インターネット接続が正しく設定されているか確認してください。
内蔵 LAN でハブに接続してもうまく使えない	● ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。 ① （スタート）をクリックし、「コンピュータ」をクリックします。 ②「 システムのプロパティ」をクリックします。 ③「タスク」欄の「デバイスマネージャ」をクリックします。「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。 ④［続行］をクリックします。 ⑤「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、「Realtek RTL8168/8111 Family PCI-E Gigabit Ethernet NIC(NDIS 6.0)」をダブルクリックします。 ⑥「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Speed & Duplex」をクリックします。 ⑦「値」を使用する環境に合った値に変更します。 ⑧［OK］をクリックして「デバイスマネージャ」画面に戻ります。 ⑨ 画面右上の をクリックして開いている画面を閉じます。

その他のトラブル

こんなときは	ここをお確かめください
表示されていたソフトウェアの画面が消えた	● リモコンの PC／PCメニュー を押してメニュー画面を表示させたときには、それまで表示されていたソフトウェアの画面が自動的に閉じられることがあります。
音が小さい	● リモコンの 音量 の＋を押し、音量の調節をしてください。 テレビとパソコンのそれぞれの画面で音量を調節することができます。 ● DVD ビデオを再生しているときは、WinDVD for Sharp の音量設定が最大になっているか確認してください。（「**DVD ビデオを見よう**」☞ 106 ページ） ● 市販の DVD ビデオなどの中には、迫力ある場面での音の効果を得るために、通常のシーンの音があらかじめ小さく設定されているものもあります。 ● 音楽 CD を再生しているときは、Windows Media Player の音量設定が最大になっているか確認してください。（「**音楽 CD を聴こう**」☞ 101 ページ） ● 次の手順に従って、「音量ミキサ」画面の音量が最大になっているか確認してください。 ① 画面右下にあるタスクバーの をダブルクリックし、ミキサをクリックします。 「音量ミキサ」画面が表示されます。 ② 音量が最大になっているか確認してください。 ③ をクリックします。

困ったときは

こんなときは	ここをお確かめください
音が聞こえない	● HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（☞ 接続と準備編 38 ページ） ● テレビが「消音」状態になっていないか確認してください。「消音」状態を解除するには、テレビのリモコンの 消音 を押します。 ● テレビのリモコンの 消音 を押して 30 分経過すると、音量が 0 になります。その場合はリモコンで音量を上げてください。 ● テレビにヘッドホンを接続していないか確認してください。
PC メニューが正しく動作しない	● セキュリティ対策ソフト（ウィルスバスター 2007）などのファイアーウォール機能で PC メニューの通信が遮断されると正しく動作しません。ファイアーウォールの設定で「menubase.exe」が許可の状態になっているか確認してください。
パソコンの電源が切れない	●「**キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない**」（☞ 126 ページ）の 7 項目めの操作をしてください。
スリープから勝手に復帰する	● リモコンの 録画リスト 再生 録画 録画停止 のいずれかを押すとスリープから復帰します。
電源が入らない	● 主電源が切れていると、パソコン前面の［電源］を押しても電源が入りません。後面の主電源スイッチを「入」にしてください。（☞ 19 ページ）それでも電源が入らないときは、主電源スイッチを「切」にして、その後 10 秒以上間隔をおいてから「入」にし、パソコン前面の［電源］を押してください。
スリープ中に USB 機器を取り外すと、スリープから復帰してしまう	● スリープのときに USB 機器を取り外すと、スリープから復帰することがあります。 USB 機器を取り外すときは、スリープにする前に取り外してください。データを格納するような USB 機器の場合は、取り外す際にデバイスを停止する操作が必要です。（「**ハードウェアの安全な取り外し**」☞ 88 ページ）
赤外線送受信ができない	● IrSS™対応の携帯電話であるか確認してください。 ● 近くに赤外線を利用する機器（ノート PC やゲーム機など）がある場合は、その機器の使用をやめて電源を切るか、パソコンから遠ざけてください。 ● JPEG 以外のデータや壊れたデータでないか確認してください。 ● 携帯電話をパソコンの IrSS 受光部の正面から上下左右 15 度以内、20 cm 以内に近づけて、再度送信してください。 また、データ容量の大きな画像の送信には数秒かかる場合がありますので、送信が完了するまで携帯電話を IrSS 受光部から離さないようにご注意ください。

困ったときは

Windows のシステムを修復する

パソコンの動作が不安定になったり、Windows が正常に起動しなくなった場合は、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。問題が解決される場合があります。

システムの復元を行う

システムの復元を実行すると、パソコンが正常に動作していた日時の状態（復元ポイント）に戻すことができます。復元ポイントは、定期的に自動作成され、また、Windows Update やソフトウェアのインストールなどによって、システム設定が変更される直前にも自動的に作成されます。

システムの復元を実行する前の準備

- 大切なデータは、システムの復元を行う前に書込み可能な CD や DVD にバックアップしてください。
- 起動しているソフトウェアがあるときは終了してください。

システムの復元を実行できないときは

- システム回復オプションを起動して「システムの復元」を実行してください。「**スタートアップ修復を行う**」（☞次ページ）の手順 **6** で「システムの復元」をクリックしてください。

1 (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を順にクリックします。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 ［続行］をクリックします。

「システムの復元」画面が表示されます。

3 「推奨される復元」をクリックし、［次へ］をクリックします。

問題が発生した日が明確なときは

- 次の手順で復元ポイントを指定してください。
  ①「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、［次へ］をクリックします。
  ②問題が発生した日より前の日時の復元ポイントをクリックし、［次へ］をクリックします。

4 復元ポイントの日時を確認し、［完了］をクリックします。

確認画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックします。

システムの復元が開始されます。復元が完了すると、パソコンが再起動し、「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。

6 ［閉じる］をクリックします。

ご参考

- 復元ポイント以降にインストールしたソフトウェアや周辺機器用ドライバー・ユーティリティなどは削除されるため、必要に応じて再インストールしてください。

困ったときは

スタートアップ修復を行う

Windows が正常に起動しなくなったときは、システム回復オプションを起動してスタートアップ修復を実行してください。

1　パソコンの電源を入れ、画面中央に表示される「SHARP」の文字が消えたらすぐに、F8 キーを繰り返し押します。

「詳細ブートオプション」画面が表示されるまで繰り返し F8 キーを押してください。

ご参考

- 「Boot Password」画面が表示されたときは、設定しているパスワードを入力して、⏎ キーを押し、その後 F8 キーを繰り返し押してください。

2　「コンピュータの修復」が選択されていることを確認し、⏎ キーを押します。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3　「日本語」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

4　「ユーザー名」欄から Windows 起動時（ログイン時）のユーザー名を選択し、必要に応じてパスワードを入力します。

5　[OK] をクリックします。

6　「スタートアップ修復」をクリックします。

システムの問題を確認し、問題がある場合は自動的に修復します。以降は、画面の指示に従って操作してください。

その他の項目について

- システムの復元
  パソコンが正常に動作していた日時の状態（復元ポイント）に戻すことができます。
- Windows Complete PC の復元
  このパソコンでは使用できません。
- Windows メモリー診断ツール
  メモリーに問題がないか調べます。
- コマンドプロンプト
  コマンドプロンプトのウィンドウを表示します。

リカバリ CD/DVD の作成

このパソコンには、リカバリ CD/DVD は付属していません。
ハードディスクが故障したり、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが壊れたりしたときに備えてリカバリ CD/DVD を作成しておくことをおすすめします。作成したリカバリ CD/DVD を使用した再インストール方法については「**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**」（☞ 140 ページ）を参照してください。

- リカバリ CD/DVD を作成した後も、ハードディスクから再インストールできます。

必要なものを準備する

- **リカバリ DVD を作成する場合**

新しい DVD-R（1 層）
3 枚

- **リカバリ CD を作成する場合**

新しい CD-R（650MB または 700MB）
11 枚

リカバリ CD/DVD 作成には、推奨ディスクを使用してください。
推奨ディスクについては、「**CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧**」（☞ 177 ページ）を参照してください。

- ペン先が硬くない油性ペンなど

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリ CD/DVD を作成するときには、Bootable CD Creator を使用します。リカバリ CD/DVD を作成する前に、下記の「Bootable CD Creator ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

Bootable CD Creator ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム（Bootable CD Creator)、データおよびマニュアル（以下総称して「本製品」という）は、Enterprise Corporation International（以下「ECI」という）が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的：
本製品は、シャープ（株）が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable CD として作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します：
1. 本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2. 本製品を 2 台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3. 本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布（パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む）すること。
4. 本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5. 本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6. 本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7. 本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8. ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ECI は本製品の使用を終了させせることができます。

制限付き保証：
ECI は、本製品が付属する ECI の資料に従ってほぼ動作することを保証します。ECI およびシャープ（株）は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限：
ECI およびシャープ（株）は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これは ECI が当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

リカバリ CD/DVD 作成前の準備

リカバリ CD/DVD 作成に失敗しないために次の準備をしてください。

- 「電源オプション」の「プラン設定の編集」画面で「コンピュータをスリープ状態にする」を「なし」に設定する※
- スクリーンセーバーを「なし」にする※
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する

※ 設定方法については、**【パソコン電子マニュアル】**（☞ 92 ページ）の「**使い方を知りたい**」－「**パソコンの設定**」の「**省電力**」および「**画面表示**」を参照してください。

リカバリ CD/DVD を作成する

ご注意

- リカバリ CD/DVD は一度しか作成できません。
  作成したリカバリ CD/DVD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

ご参考

- リカバリ CD/DVD の作成を途中で中止しても、最初からやり直してリカバリ CD/DVD を作成できます。

1 **新しい CD-R または DVD-R（1 層）を CD/DVD ドライブにセットします。**

「自動再生」画面が表示されたときは、画面右上の をクリックして画面を閉じてください。

2 **（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」−「プロダクトリカバリ CD_DVD 作成」を順にクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます

3 **［続行］をクリックします。**

Bootable CD Creator が起動します。

4 **［リカバリディスクの作成］をクリックします。**

5 **確認画面で［OK］をクリックします。**

書き込みが始まります。

ご注意

- ディスクへの書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

6 次の画面が表示されたら、新しいディスクと入れ替え、[OK] をクリックします。

書き込みが完了したディスクから、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリディスク 1」、「リカバリディスク 2」、……と順にディスク番号を書いてください。

ご参考

- 新しいディスクをセットした後、「自動再生」画面が表示されたときは、画面右上の [X] をクリックして画面を閉じてください。

7 「ディスクの作成が完了しました」と表示されたら［OK］をクリックし、CD/DVD ドライブからディスクを取り出します。

取り出したディスクに、続きのディスク番号を書いてください。

8 ［終了］をクリックします。

9 確認画面で［はい］をクリックします。

ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。
録画用ハードディスクはパソコン用ハードディスクと別になっています。再インストールしても、録画データは消去されません。

ご注意

- このパソコンは、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のハードディスクパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えたりしないでください。再インストール用のデータが消えて、ハードディスクからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリソフトの中には、MBR（マスターブートレコード：ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリ CD/DVD が作成できなかったりします。また、再インストール時に D ドライブのデータが消えたりします。

再インストールする前に、もう一度確認してください

再インストールすると、ハードディスク内の C ドライブの内容は消去されてしまいます。再インストールの種類によっては D ドライブの内容も消去されます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

「**故障かな？と思ったら**」（☞ 124 ページ）および【**パソコン電子マニュアル**】（☞ 92 ページ）の「**トラブル解決**」に問題が起こったときの解決方法が書かれています。あてはまる項目がないか調べてみてください。

それでも問題が解決しないときは、システムの復元やスタートアップ修復を試してみてください。（「**Windows のシステムを修復する**」☞ 134 ページ）

再インストールが途中で中断したときは

- 以下の手順に従って、最初から再インストールをやり直してください。
  ① ［戻る］をクリックして再インストールの最初の画面まで戻ります。
  ② ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックします。
  ③ パソコンが再起動しますので、最初から再インストールをやり直してください。

再インストール後はセキュリティ対策ソフトを最新の状態にしてください

- 再インストール完了後のパソコンのシステムは、ご購入時の状態に戻っています。ウイルスや悪意のあるプログラムからパソコンを守るために、セキュリティ対策ソフトを最新の状態に（アップデート）してください。

パソコンの廃棄・譲渡時はデータを消去してください

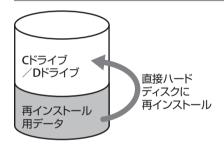
- 再インストールを行い、ハードディスク内のデータを初期化しても市販のデータ回復ソフトを利用すればデータを復元できる場合があります。このパソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが流出するといったトラブルを回避するため、「**パソコンの廃棄・譲渡時にデータを消去する**」（☞ 165 ページ）を参照してハードディスクの全データを消去してください。

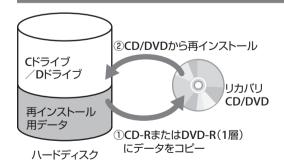
再インストールの種類

再インストールには、ハードディスクドライブから再インストールする方法と、リカバリ CD またはリカバリ DVD（以下総称してリカバリ CD/DVD と表記します）から再インストールする方法とがあります。

ご注意

- 万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、ハードディスクから再インストールすることができなくなります。万一に備えて、リカバリ CD/DVD を作成しておくことをおすすめします。
  リカバリ CD/DVD を作成する方法は「**リカバリ CD/DVD の作成**」（☞136 ページ）を参照してください。

ハードディスクドライブから再インストールする

あらかじめハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
この方法ではリカバリ CD/DVD を使って再インストールするよりも短時間で再インストールを完了できます。

リカバリ CD/DVD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったん CD-R または DVD-R（1 層）にコピーし、CD または DVD からハードディスクに再インストールする方法です。
お客様ご自身で CD-R または DVD-R（1 層）を用意いただき、リカバリ CD/DVD の作成作業をしていただく必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、リカバリ CD/DVD から再インストールすることができます。

再インストールの準備をする

必要なものを準備する

- 接続と準備編
- **リカバリ CD/DVD**（リカバリ CD/DVD から再インストールする場合のみ）
  138 ページで作成したリカバリ CD またはリカバリ DVD を準備してください。
  ハードディスクから再インストールするときは、リカバリ CD/DVD は必要ありません。
- **Microsoft Office Personal 2007 パック**（Office Personal 2007 付属モデルのみ）
  Office Personal 2007 の CD-ROM および スタートガイド を使用します。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたソフトウェアなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。データのバックアップ方法については、【パソコン電子マニュアル】（☞ 92 ページ）の「使い方を知りたい」－「データ／ファイル」を参照してください。

ソフトウェア使用許諾書を読む

再インストールをするときには、Shadowprotect Restore を使用します。再インストールの前に、次の「SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書」と「MBRINST 使用許諾書」をよくお読みください。

STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION
SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書

注意：本ソフトウェアを使用し、出荷時のイメージを復元すると、復元先のハードディスク上のデータは削除され、出荷時のイメージが上書きされます。復元前に、データをバックアップすることをお勧めします。

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。StorageCraft Technology Corporation（以下、「ライセンサー」）は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人（以下、「ライセンシー」）に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾
本ソフトウェアと付随するドキュメント（"本ソフトウェア" と総称します）はライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：
A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーが作成し、コンピュータに添付した出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の１台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：
A. 付随するドキュメントをコピーすること
B. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
C. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート
ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証
本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責
ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項
本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
StorageCraft Technology Corporation,
180 West Election Road, Suite 230, Draper, Utah 84020, U.S.A.
www.shadowstor.com、FAX:801-382-1824、
もしくは、STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATIONの日本総代理店である㈱ネットジャパンにご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町８番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

株式会社 ネットジャパン
MBRINST 使用許諾書

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。株式会社 ネットジャパン(以下、「ライセンサー」)は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人(以下、「ライセンシー」)に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾
本ソフトウェアはライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：
A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーのコンピュータに添付され出荷されます。本ソフトウェアは、出荷時のハードディスクイメージの復旧機能の一部を構成し、出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の1台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：
A. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
B. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート
ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証
本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責
ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項
本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町８番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順で行います。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2 再インストールする

⇩

Step3 Windows をセットアップする

Office Personal 2007 付属モデルのみ ⇩

Step4 Office Personal 2007 を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

パソコンの準備をする

1

パソコンの電源を切ります。

① (スタート) をクリックします。
② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックします。

2

パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

① メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターおよび USB コネクターに接続している機器を取り外します。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したまま再インストールを実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

再インストールする

ここでは、ハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って、C ドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を中心に説明します。C ドライブのみを再インストールすると、D ドライブ内のデータは削除されませんので、通常はこの方法で再インストールしてください。

> ハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して再インストールすることも可能です。
> また、ここでは、作成したリカバリ CD/DVD を使用して再インストールする場合についても説明しています。
> これらの操作手順については、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する

1　パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter Setup」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。

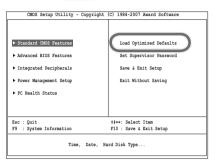
セットアップユーティリティのメインメニュー画面が表示されます。

```
CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2007 Award Software

▶ Standard CMOS Features          Load Optimized Defaults
▶ Advanced BIOS Features          Set Supervisor Password
▶ Integrated Peripherals          Save & Exit Setup
▶ Power Management Setup          Exit Without Saving
▶ PC Health Status

Esc : Quit                        ↑↓→←: Select Item
F9  : System Information          F10 : Save & Exit Setup

Time, Date, Hard Disk Type...
```

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットします。

2 設定を初期値に変更します。

①[←][→][↓][↑]でメインメニュー右側の「Load Optimized Defaults」を選び、[⏎]キーを押します。

②「Load Optimized Defaults (Y/N)? N」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Y]キーを押し、[⏎]キーを押します。

3 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

①[F10]キーを押します。

②「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」と表示されたら、[⏎]キーを押します。
パソコンが再起動します。

4 パソコンが再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、[F4]キーを押します。

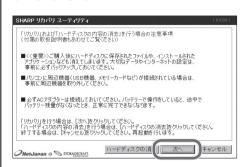
表示されている時間は約2秒です。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

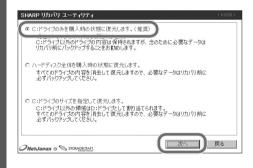
- 画面左上に「Press F4 to Recover」と表示されません。次の「**Step2 再インストールする**」に進んでください。

5 次の「Step2 再インストールする」に進みます。

Step2　再インストールする

1 次の画面が表示されたら、内容をよく読んで［次へ］をクリックします。

［キャンセル］を選択したときは

- **ハードディスクから再インストールしている場合**
  ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックしたときは、パソコンが再起動します。
- **リカバリ CD/DVD から再インストールしている場合**
  ［キャンセル］をクリックした後、次の手順に従ってください。
  ①［OK］をクリックします。
  CD/DVD ドライブのトレイが自動的に出てきます。数秒後、自動的に閉まります。
  ②画面の左下に「＜F2＞ to enter Setup」と表示されたらすぐに F2 キーを押します。
  ③リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出し、ドライブのトレイを閉じます。
  ④パソコンの［電源］を押して、電源を切ります。

2 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。（推奨）」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

ハードディスク全体を復元したいときは

- C ドライブだけでなく、D ドライブもご購入時の状態に戻したいときは、「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します。」を選択します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。この項目を選択するときは、次の「**ご注意**」もあわせてお読みください。

C ドライブのサイズを変更するときは

- C ドライブと D ドライブの容量を変更し、C ドライブと D ドライブをご購入時の状態に戻したいときは、「C：ドライブのサイズを指定して復元します。」を選択します。この項目を選択するときは、次の「**ご注意**」もあわせてお読みください。

ご注意

- ハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールをする前に書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- リカバリ CD/DVD を使用してハードディスク全体または C ドライブのサイズを指定して復元するを選択したときは、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。ハードディスクからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

3 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、[リカバリ開始] をクリックします。

確認画面が表示されます。

C ドライブのサイズを変更するときは

- 「C：ドライブのサイズを指定して復元します。」を選択したときは以下の手順に従って操作をしてください。
  ① ▼ ▲ で C ドライブの容量を設定し、［次へ］をクリックします。

困ったときは

② ［リカバリ開始］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。
  再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールしてください。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、リカバリディスクを入れ替え、［OK］をクリックします。

5 ハードディスクのリカバリ処理が終了し、確認画面が表示されたら［OK］をクリックします。

パソコンが再起動します。

リカバリ CD/DVD を使用したときは

- 確認画面で［OK］をクリックする前に、リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出してください。

6 次の「Step3 Windows をセットアップする」に進みます。

Step3　Windows をセットアップする

パソコンが再起動して、しばらくすると「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されます。
接続と準備編 の「パソコンを使えるようにする」(☞ 60 ページ) を参照してセットアップを完了してください。

Office Personal 2007 が付属していないモデルをお使いの場合は、これで再インストールは完了です。

Office Personal 2007 付属モデルをお使いの場合は、次の「Step4　Office Personal 2007 を再インストールする」に進んでください。

Step4　Office Personal 2007 を再インストールする

（Office Personal 2007 付属モデルのみ）

ご参考

- Office Personal 2007 をインストールすると、日本語入力システム IME 2007 も同時にインストールされます。

1 「Office Personal 2007」の CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。

「自動再生」画面が表示されます。

2 「SETUP.EXE の実行」をクリックします。

「 ユーザーアカウント制御 」画面が表示されます。

3 ［続行］をクリックします。

「Microsoft Office Personal 2007」画面が表示されます。

4 Office Personal 2007 パックに付属している スタートガイド を参照してインストールします。

次の画面が表示されたら、①②③の手順に従ってください。

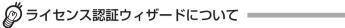
①［ユーザー設定］をクリックします。
②「Microsoft Office」の左の をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。
③［今すぐインストール］をクリックします。

5 インストールが完了したら、CD/DVD ドライブから「Office Personal 2007」の CD-ROM を取り出します。

6 IME 2007 をアップデートします。

① （スタート）をクリックします。
②「検索の開始」欄に「C:¥」と入力し、「office-update」をクリックします。

「office-update」フォルダ画面が表示されます。
③「office-kb938574-fullfile-...」をダブルクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
④［続行］をクリックします。
「Office（KB938574）の修正プログラム」画面が表示されます。
⑤内容をよく読み、同意される場合は、「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックしてチェックマークを付けます。
⑥［次へ］をクリックします。
修正プログラムのインストールが開始されます。
⑦［はい］をクリックします。
パソコンが再起動します。

これで再インストールは完了です。

ライセンス認証ウィザードについて

- 再インストール後、Office アプリケーションを起動すると、「Microsoft Office 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office 2007 ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office Personal 2007 パックに付属の スタートガイド を参照してください。

付録

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定（各種機能の有効／無効、パスワードの設定など）を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。
セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Standard CMOS Features メニュー
- Advanced BIOS Features メニュー
- Integrated Peripherals メニュー
- Power Management Setup メニュー
- PC Health Status メニュー

- 誤って変更してしまったときは、「**すべての設定を初期値に戻す**」（☞ 162 ページ）の操作をしてください。

設定内容を変更する

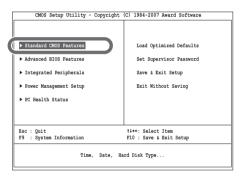
1 **パソコンの電源を切ります。**

① （スタート）をクリックします。
② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックします。

付録

2 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter Setup」と表示されたらすぐに F2 キーを押します。

セットアップユーティリティのメインメニュー画面が表示されます。

3 ← → ↓ ↑ で設定したいメニュー（または項目）を選び、↵ キーを押します。

選んだメニューの設定項目が表示されます。
▶マークのある項目にはサブメニューがあります。

4 各項目を設定します。

画面の下段に操作案内が表示されています。

← → ↓ ↑ と ↵ ：設定項目を選びます。
↓ ↑ と ↵ ：設定内容を切り換えます。
0 ～ 9 ：日付や時刻を入力します。
Esc ：ひとつ前の画面に戻ります。

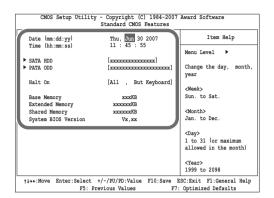
5 F10 キーを押します。

6 「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」と表示されたら、↵ キーを押します。

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

付録

Standard CMOS Features メニュー

日付と時刻、ハードディスクのタイプなど、システムの基本的な設定項目があります。

Date
日付を設定します。（月／日／年の順）

Time
時刻を設定します。（24 時間制で、時／分／秒の順）

SATA HDD
PATA ODD
ハードディスクと CD/DVD ドライブのパラメータを設定します。
通常はご購入時の状態のままでお使いください。

Halt On
どのようなエラーが発生したときにシステムを停止させるかを設定します。

- **All Errors**　：すべてのエラー
- **No Errors**　：エラーを無視する
- **All, But Keyboard**　：キーボード以外のすべてのエラー

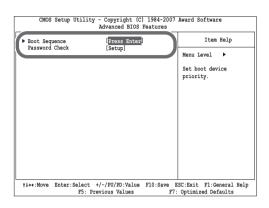
Base Memory
MS-DOS で直接使用するコンベンショナルメモリーのサイズが表示されます。常に「640KB」に設定されます。

Extended Memory
1MB 以上のエクステンドメモリーのサイズが表示されます。

Shared Memory
MS-DOS でのビデオメモリーのサイズが表示されます。

System BIOS Version
セットアップユーティリティ（BIOS）のバージョンが表示されます。

Advanced BIOS Features メニュー

システム起動時にデータを読み取りに行く場所（デバイス）、パスワード入力画面の表示についての設定項目があります。

Boot Sequence

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。それぞれの項目に同じドライブが重複しないように設定してください。

First Boot Device　：最初に使用するデバイス
Second Boot Device　：2 番目に使用するデバイス
Third Boot Device　：3 番目に使用するデバイス

Hard Disk　：ハードディスクドライブから起動
CDROM　：CD/DVD ドライブから起動
USB-FDD　：外付けのフロッピーディスクドライブから起動
USB-CDROM　：外付けの CD/DVD ドライブから起動
USB-HDD　：外付けのハードディスクから起動
LAN　：ネットワーク（LAN）上の起動用（サーバーから起動）
Disabled　：選択しない

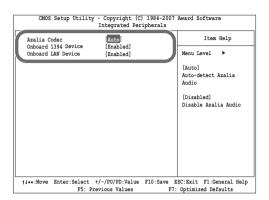
Password Check

パスワードを設定している場合に、パスワード入力画面をいつ表示させるかを設定します。

Setup　：セットアップユーティリティを開いたとき
System　：セットアップユーティリティを開いたときと、パソコンを起動したとき

付録

Integrated Peripherals メニュー

内蔵 LAN、IEEE1394 コネクターなど、主に周辺機器（入出力デバイス）の設定項目があります。

Azalia Codec

Azalia コーデックの自動／無効を設定します。

Auto ：自動にする
Disabled ：無効にする

Onboard 1394 Device

IEEE1394 コネクターの有効／無効を設定します。

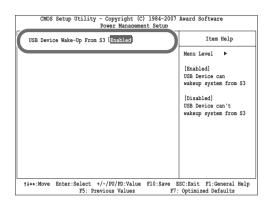
Disabled ：無効にする
Enabled ：有効にする

Onboard LAN Device

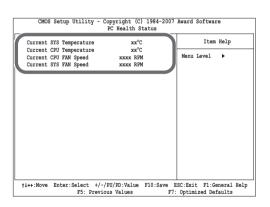
内蔵 LAN デバイスの有効／無効を設定します。

Disabled ：無効にする
Enabled ：有効にする

Power Management Setup メニュー

電源管理のほか、システムの自動起動についての設定項目があります。

USB Device Wake-Up From S3
USB キーボード／ USB マウス／リモコンを操作したときに、スリープから復帰するかどうかを設定します。
Disabled ：復帰しない
Enabled ：復帰する

PC Health Status メニュー

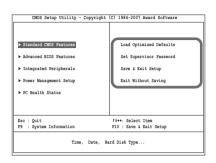
システムの状態を表示します。

Current SYS Temperature
システムの温度が表示されます。

Current CPU Temperature
CPU の温度が表示されます。

Current CPU FAN Speed
CPU 用ファンの速度が表示されます。

Current SYS FAN Speed
システム用ファンの速度が表示されます。

メインメニュー右側の項目について

セットアップユーティリティの設定を初期値に戻したり、セットアップユーティリティを終了したり、パスワードを設定したりするための項目があります。

Load Optimized Defaults
このパソコンに適した初期設定に戻ります。

Set Supervisor Password
スーパーバイザーパスワードを設定します。

Save & Exit Setup
変更内容を保存してセットアップユーティリティを終了します。

Exit Without Saving
変更内容を保存しないでセットアップユーティリティを終了します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **[←] [→] [↓] [↑] でメインメニュー右側の「Load Optimized Defaults」を選び、[Enter] キーを押します。**

2 **「Load Optimized Defaults (Y/N) ? N」と表示されたら、[Y] キーを押し、[Enter] キーを押します。**
すべての設定が初期値に戻ります。

3 **[F10] キーを押します。**

4 **「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」と表示されたら、[Enter] キーを押します。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windowsが起動します。

付録

パスワードを登録する

パスワードを設定しておくと、パソコン起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。
また、セットアップユーティリティの起動および変更を制限することができます。
ここでは一例として、パスワードを入力し、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されるように設定します。

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンを起動できなくなります。
- パソコン本体の修理を依頼されるときは、パスワードを削除しておいてください。

1 **[←] [→] [↓] [↑] でメインメニュー右側の「Set Supervisor Password」を選び、[⏎] キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。

2 **「Enter Password」欄にパスワードを入力し、[⏎] キーを押します。**

パスワードは、8 文字までの半角英数字で設定してください。

3 **「Confirm Password」欄に確認のために同じパスワードを再度入力し、[⏎] キーを押します。**

4 **[F10] キーを押します。**

5 **「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)? Y」と表示されたら、[⏎] キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

ご参考

- パソコン起動時にもパスワード入力画面が表示されるように設定するときは、手順 **3** の後、「Advanced BIOS Features」メニューの「Password Check」で「System」を選んでください。（「セットアップユーティリティ」☞ 156 ページ）

パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録したパソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面（下記）にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

```
Enter Password :
```

パスワードの入力をまちがえると、「Invalid Password! Press Any Key to Continue.」画面が表示されますので、[Enter] キーを押してパスワードを再入力してください。

パスワードを変更／削除する

1 **[←] [→] [↓] [↑] でメインメニュー右側の「Set Supervisor Password」を選び、[Enter] キーを押します。**

パスワード入力画面が表示されます。

2 **「Enter Password」欄に新しいパスワードを 8 文字までの半角英数字で入力し、[Enter] キーを押します。**

パスワードを削除するときは、何も入力せずに [Enter] キーを押します。
パスワードは、8 文字までの半角英数字で設定してください。

3
- **パスワードを変更するとき**
  「Confirm Password」欄に、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- **パスワードを削除するとき**
  「PASSWORD DISABLED!!!」と表示されたら、何かキーを押します。

4 **[F10] キーを押します。**

5 **「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)? Y」と表示されたら、[Enter] キーを押します。**

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

パソコンの廃棄・譲渡時にデータを消去する

パソコンを廃棄や譲渡するときは、お客さまの重要なデータが流出するトラブルを防ぐために次の手順に従ってハードディスクの全データを消去してください。

ハードディスクのデータは、データの削除やハードディスクの初期化を行なっただけでは市販のデータ回復ソフトで復元される場合があります。パソコンを廃棄や譲渡するときは、重要なデータが復元され流出しないようにハードディスクの全データを消去してください。（接続と準備編 の「**パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意**」☞ 11 ページ）

データ消去の方法には、ハードディスクドライブに保存されているデータ消去用のツールを使って消去する方法と、リカバリ CD/DVD を使用して消去する方法とがあります。ここではハードディスクドライブから消去する方法を中心に説明します。リカバリ CD/DVD を使用して消去する場合は、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

ご注意

- 大切なデータは、データの消去を行う前に、書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- この操作を行っても、完全にデータを復元できなくなるわけではありません。
- リカバリ CD/DVD からハードディスクのデータを消去すると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも消去されますので、ハードディスクからの再インストールやデータ消去はできなくなります。
- 録画用ハードディスクはパソコン用ハードディスクと別になっています。次の手順に従っても録画データは消去されません。録画した番組を消去したい場合は、次の手順の前に録画した番組を削除してください。（☞ ファミリンク機能／録画機能編 33 ページ）

ご参考

- パソコンを譲渡するときは、データ消去後にパソコンをご購入時の状態に戻して譲渡できます。
- 消去後に再インストールを行なう場合は、「**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**」（☞ 140 ページ）を参照し、ハードディスク全体を再インストールしてください。
- 市販のパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変更すると、ハードディスクドライブに保存されているデータ消去用のツールを使ってデータの消去ができないことがあります。その場合は、リカバリ CD/DVD を利用してハードディスクのデータを消去してください。

1 パソコンの電源を切ります。

① （スタート）をクリックします。
② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックします。

2 パソコンに周辺機器が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

① メモリーカードスロットに挿入されているカード類を取り出します。
② IEEE1394 コネクターおよび USB コネクターに接続している機器を取り外します。
パソコン後面の USB コネクターも確認してください。

ご注意

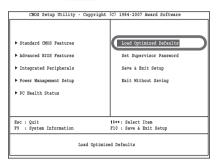
- メモリーカードや USB 接続のハードディスクドライブなどを接続したままデータ消去を実行すると、メモリーカードなどのデータが消去される場合があります。

3 パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter Setup」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。

セットアップユーティリティ のメインメニュー画面が表示されます。

付録

4 設定を初期値に変更します。

①[←][→][↓][↑]でメインメニュー右側の「Load Optimized Defaults」を選び、[⏎]キーを押します。

②「Load Optimized Defaults (Y/N)? N」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Y]キーを押し、[⏎]キーを押します。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 「リカバリディスク 1」を CD/DVD ドライブにセットします。

5 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

①[F10]キーを押します。

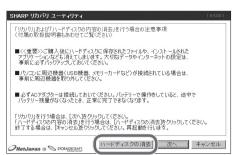
②「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」と表示されたら、[⏎]キーを押します。
パソコンが再起動します。

6 パソコンが再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、[F4]キーを押します。

表示されている時間は約 2 秒です。

リカバリ CD/DVD を使用するときは

- 画面左上に「Press F4 to Recover」と表示されません。手順 **7** に進んでください。

7 ［ハードディスクの消去］をクリックします。

8 ↓ キーで「次へ」を選択し、⏎ キーを押します。

9 ↓ ↑ キーで消去のレベルを選択し、⏎ キーを押します。

消去のレベルが高いほど処理時間は長くなりますが、より確実に消去され、復元されにくくなります。

10 ↓ キーで「消去します」を選択し、⏎ キーを押します。

11 「erase」と入力し、⏎ キーを押します。

画面には大文字で「ERASE」と表示されます。

12 ↓ キーで「はい（消去を開始します）」を選択し、⏎ キーを押します。

ハードディスクの消去が始まります。

ご注意

- 消去中は、パソコンの［電源］を押して電源を切らないでください。故障の原因になります。

ご参考

- 消去を中断するには Esc キーを押します。
- 消去中、ハードディスクの読み書きができなくなった部分がある場合は、不良セクタとして画面に表示されます。不良セクタ部分は消去されません。
- 不良セクタがある場合、通常の処理時間より時間がかかります。

13 「消去処理は正常に終了しました。」と表示されたら、パソコンの［電源］を 4 秒以上押し続けて、電源を切ります。

リカバリ CD/DVD を使用したときは

- パソコンの電源を切った後、次の手順に従ってください。
  ①約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「＜F2＞ to enter Setup」と表示されたらすぐに、F2 キーを押します。
  ②リカバリ CD/DVD を CD/DVD ドライブから取り出します。
  ③パソコンの［電源］を押して、電源を切ります。

付録

14 **引き続き再インストールする場合**
「再インストールする」(☞ 146 ページ)を参照してハードディスク全体をハードディスクまたはリカバリ CD/DVD から再インストールします。
再インストールしない場合
これで作業は終了です。

付録

お手入れ

お手入れをする際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

- お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品は使わないでください。変形・変色の原因となります。
  また、パソコン本体には絶対に水が入らないように注意してください。故障の原因になります。

キャビネット

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
汚れがひどいときは、水またはぬるま湯を布に含ませ、固く絞って拭き取ります。

通風孔

通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。掃除機などを使ってほこりを除去してください。

区点コード一覧

区点コードでの入力のしかたについては、「**区点コードで入力する**」（☞41ページ）を参照してください。

ご参考

- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の文字の字形と画面に表示される文字の字形では、見え方が異なるものがあります。

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県

1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
―こ―										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
―さ―										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
―し―										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲

1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
―す―										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
―せ―										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
―そ―										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
―た―										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
―ち―										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
―つ―										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
―て―										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					

1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
―と―										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
―な―										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
―に―										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
―ぬ〜の―										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
―は―										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
―ひ―										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
―ふ―										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
―へ―										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
548	幟	幢	幤	幇	干	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

付録

仕様一覧

形名			PC-AX120V	PC-AX80V	PC-AX30V
デジタルテレビ録画			i.LINKデジタル録画ユニット内蔵※1		―
	録画記録方式		MPEG2-TS		―
	対応放送波		地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送 ※地上アナログ放送の録画はできません。		―
	録画機能		ワンタッチ録画機能※2、電子番組表予約録画機能※3 ※バックアップ機能、編集機能はありません。		―
	ハードディスク容量※a		約500GB※4	約250GB※4	―
	録画時間※b	地上デジタル放送	HD画質：約62時間 SD画質 ：約88時間	HD画質：約31時間 SD画質 ：約44時間	―
		BS・110度CSデジタル放送	HD画質：約44時間 SD画質 ：約88時間	HD画質：約22時間 SD画質 ：約44時間	―
	入出力端子		i.LINK（TS）S400※5×1		―
インストールOS※c			Windows Vista Home Premium正規版		
CPU			インテルCore 2 Duo プロセッサーT5500（1.66GHz）	インテルCeleron Mプロセッサー520（1.6GHz）	
	キャッシュメモリー		1次：インストラクション用32KB／データ用32KB、2次：2MB内蔵	1次：インストラクション用32KB／データ用32KB、2次：1MB内蔵	
チップセット			インテル945GM／ICH7-M		
システムバス			667MHz	533MHz	
メインメモリー			標準1GB (512MB＋512MB、最大2GB※6)（DDR2-667　PC2-5300対応、SO-DIMM、デュアルチャネル対応※7）	標準1GB (512MB＋512MB、最大2GB※6)（DDR2-533　PC2-4200対応、SO-DIMM、デュアルチャネル対応※7）	
	メモリースロット		2スロット（空きスロット0）		
表示機能	解像度（画素）と色数※d		1,920×1,080、1,360×768、1,024×768、800×600 (すべて最大約1,677万色)		
	グラフィックアクセラレーター		インテル945GM（チップセットに内蔵）		
	ビデオメモリー		最大224MB※8（メインメモリーを使用）		
入力装置	キーボード		タッチパッド搭載ワイヤレスキーボード付属（RF無線方式、独立テンキー付）、107キー		
		キーピッチ／キーストローク	約19mm※9／約3mm		
	ポインティングデバイス		タッチパッド（キーボード、リモコンに搭載）		
	リモコン		タッチパッド搭載リモコン付属（RF無線方式／赤外線方式）		
	クイックスタートボタン		インターネット、拡大表示、メール、デスクトップ（キーボードに搭載）		
記憶装置	ハードディスクドライブ※a		約250GB（Serial ATA/150※10）※11	約160GB（Serial ATA/150※10）※11	
		Windowsのシステムから認識できるドライブ全体の容量	約232.8GB（Cドライブ：約200.0GB、Dドライブ：約25.8GB、残りはリカバリ領域、WinRE領域として使用）	約149.0GB（Cドライブ：約120GB、Dドライブ：約22.0GB、残りはリカバリ領域、WinRE領域として使用）	
		フォーマット	NTFS		
	CD/DVDドライブ		DVDスーパーマルチドライブ※12（DVD-RAM&DVD±R/RWドライブ）（DVD±R 2層書込対応、RAM2対応）		
通信機能	LAN		1000BASE-T／100BASE-TX ／10BASE-T		
	赤外線		IrSS受信		

付録

形名		PC-AX120V	PC-AX80V	PC-AX30V
カードスロット	SDメモリーカード	1[※13]		
	メモリースティック			
	xD-ピクチャーカード			
サウンド機能		チップセット内蔵＋High Definition Audioコーデック		
接続端子	表示／映像／サウンド／その他	HDMI出力[※14]×1、パソコン映像出力[※14][※15]×1、マイクロホン入力（φ3.5mmモノラルミニジャック）×1、ライン出力（φ3.5mmステレオミニジャック）×1、ヘッドホン出力（φ3.5mmステレオミニジャック）×1、デジタル音声出力（光）(角型) ×1、テレビ／パソコン連携端子（D-Sub 9ピン）[※15]×1		
	汎用	USB（USB2.0準拠）×4、IEEE1394（4ピン）[※16]×1		
電源	ACアダプター	100V、50/60Hz（形名：EA-AX1V）		
	電源コード	AC100V専用（日本仕様）		
消費電力／待機時消費電力(W)		最大 約95／約8.7	最大 約75／約9.6	最大 約66／約4.7
2007年度省エネルギー基準達成率[※e]		AA		
エネルギー消費効率[※f]		0.0012（j区分）	0.0023（j区分）	0.0017（j区分）
温度／湿度条件		10～35℃／20～80%（非結露）		
外形寸法（突起部含む）幅×奥行×高さ（mm）	本体	縦置き時：約175×299×354（スタンド含む、ゴム足含む） 横置き時：約342×299×93 （スタンド除く、ゴム足含む）		
	キーボード	約445×157×24		
質量（kg）	本体	縦置き時：約7.2（スタンド含む） 横置き時：約6.5（スタンド除く）		縦置き時：約6.5（スタンド含む）、横置き時：約5.8（スタンド除く）
	キーボード	約0.56（電池除く）		
リカバリ方式		ハードディスクリカバリ[※17]		
Office Personal 2007パック		付属		—

※a　1GB＝10億バイトで計算した場合の数値です。

※b　出荷時状態での目安です。

※c　プリインストールされているOSのみをサポートしています。Windows Anytime Upgradeはサポートしておりません。

※d　1,920×1,080、1,360×768以外の解像度に設定した場合、「PCメニュー」などの付属ソフトが正しく表示されないことがあります。

※e　電気・電子機器の省エネルギー基準達成率の算出方法および表示方法(JIS C 9901)に基づく表示です。省エネルギー基準達成率が100%以上の場合は、100%以上200%未満＝A、200%以上500%未満＝AA、500%以上＝AAAで表示しています。

※f　省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

※1　i.LINK接続したテレビのデジタルチューナーを利用してデジタル放送を録画します。

※2　パソコンに付属のリモコンでのみ操作できます。

※3　テレビの電子番組表で予約します。

※4　Windowsのシステムからは認識できません。

※5　テレビからの番組録画・再生および対応i.LINK機器への録画番組のムーブ（移動）のみに使用します。

※6　お客様によるメモリー増設はできません。有料増設サービスの詳細は、準備ができ次第インターネットアクオスサポートページの機種別ページにて順次ご案内します。**http://i-aquos.sharp.co.jp/**
増設する場合は標準メモリーの取り外しが必要です。

※7　同じ容量のメモリーを装着した場合、デュアルチャネルで動作します。

※8　Intel Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況により、自動的にビデオメモリー容量が変化します。

※9　一部キーピッチが短くなっている部分があります。

※10 AHCIモードでは動作しません。

※11 テレビ録画には使用できません。

※12 詳細については「**CD/DVDドライブ対応ディスク一覧**」（☞ 下記）を参照してください。

※13 詳細については「**使用可能なメモリーカード**」（☞ 次ページ）を参照してください。

※14 HDMI出力端子とパソコン映像出力端子の同時出力はできません。マルチモニタ機能には対応していません。

※15 接続方法等詳しい情報は、インターネットAQUOSサポートページの機種別ページにて順次ご案内します。
http://i-aquos.sharp.co.jp/

※16 市販されているすべてのIEEE1394対応機器と接続できるわけではありません。デジタルビデオカメラを接続して映像・音声を取り込む場合は、市販の4ピン-4ピン端子IEEE1394ケーブルが必要になります。動作状況によっては映像のコマ落ちが生じる場合があります。テレビのi.LINK端子およびデジタルテレビ録画ユニットのi.LINK端子とは接続できません。

※17 付属ソフトの「Bootable CD Creator」により、リカバリCDまたはリカバリDVDを一回限り作成できます。市販のCD-RまたはDVD-R（1層）が必要です。

CD/DVD ドライブ対応ディスク一覧

（－：ディスクの仕様により非対応、×：ドライブの仕様により非対応）

ディスクの種類			読出（再生）	書き込みまたは書き換え	
			読出速度	**書込/書換速度**	**推奨ディスク（ディスクの対応倍速）**
読出のみ可能（記録不可）	**DVD-ROM**	**（1層）**	最大16倍速	－	
		（2層）	最大 8 倍速	－	
	CD-ROM		最大48倍速	－	
1回のみ記録可能	**DVD-R**	**（1層）**	最大16倍速	最大16倍速	太陽誘電製（1～4倍速、1～8倍速、1～16倍速）
		（2層）	最大 8 倍速	最大 8 倍速	三菱化学メディア製（2～4倍速、2～8倍速）
	DVD+R	**（1層）**	最大16倍速	最大16倍速	太陽誘電製（1～4倍速、1～8倍速、1～16倍速）
		（2層）	最大 8 倍速	最大 8 倍速	三菱化学メディア製（2.4倍速、2.4～8倍速）
	CD-R		最大48倍速	最大48倍速	太陽誘電製（2～48倍速）
繰り返し記録可能	**DVD-RAM※1**	**片面4.7GB／両面9.4GB**	最大12倍速	最大12倍速	日立マクセル製（2倍速、2～3倍速、2～5倍速、6～12倍速）
		片面2.6GB／両面5.2GB	×	×	
	DVD-RW※2		最大 8 倍速	最大 6 倍速	日本ビクター製（1～2倍速、2～4倍速、6倍速）
	DVD+RW		最大 8 倍速	最大 8 倍速	リコー製（2.4～4倍速、8倍速）
	CD-RW		最大40倍速	最大32倍速	三菱化学メディア製（1～4倍速、4～12倍速、24倍速、32倍速）

※1 カートリッジ式のDVD-RAMは使用できません。DVD-RAMを使用する場合は、カートリッジなしのタイプか、もしくは取り外し可能なカートリッジ（Type2またはType4）からディスクを取り出してご使用ください。DVD-RAMに書き込む場合は、DVD-RAM Ver.2.0、Ver.2.1またはVer.2.2に準拠したディスクをご使用ください。本機で作成したRAM2規格のディスクは、RAM2に対応していないCD/DVDドライブでは使用できません。

※2 DVD-RWに書き込む場合は、DVD-RW Ver.1.1またはVer.1.2に準拠したディスクをご使用ください。DVD-RW for DL Ver.2.0規格のディスクは使用できません。

＜ディスクの形状についてのご注意＞

- 8cmディスク用の変換アダプター、規格外ディスク（ハート形などの異形ディスクやDVD Slim disc）は使用できません。8cmディスクには書き込みできません。また、縦置き時は、8cmディスクは使用できません。

＜書き込み／書き換えについてのご注意＞

- 上記の推奨ディスクをご使用ください。メーカー名およびパッケージに記載されているディスクの対応倍速を確認してください。それ以外のディスクでは、正常に書き込めない場合があります。また、ディスクによっては、記録品質を保つために書込・書換速度が制限される場合があります。
- ご使用のディスクの最大書込・書換速度とCD/DVDドライブの最大書込・書換速度が異なる場合、どちらか遅い方の最大書込・書換速度で書き込み／書き換えられます。
- 市販のDVD±R/±RWには「for Data」「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDレコーダーとの互換性を重視する場合には「for Video」をご使用ください。

使用可能なメモリーカード

メモリーカードスロットでは、次のメモリーカードを使用できます。

- SDメモリーカード、miniSDカード、microSDカード
- メモリースティック、メモリースティックPRO、メモリースティックデュオ、メモリースティックPROデュオ、メモリースティックマイクロ
- xD-ピクチャーカード（Type M、Type Hにも対応しています。）

メモリーカードはデータをやりとりする相手機器でフォーマットしたものをご使用ください。
SD I/Oカード、SDHCメモリーカード、SDスピードクラス Class2以上には対応していません。
SDメモリーカードおよびメモリースティックの著作権保護機能、高速転送機能には対応していません。
Windows ReadyBoostには対応していません。
miniSDカード、microSDカード、メモリースティックPROデュオ、メモリースティック デュオおよびメモリースティック マイクロを使用する場合は、市販の専用アダプターが必要です。

接続できるマイクの仕様

マイクジャックに接続できるマイクの仕様は以下のとおりです。

プラグ形状	φ3.5mmモノラルミニプラグ※
適合インピーダンス	1.5kΩ～2.4kΩ
電源電圧	DC2.5V
タイプ	エレクトレットコンデンサマイク

※ ステレオミニプラグ（3 極プラグ）タイプのモノラルマイクも使用できます。

接続できるヘッドホンの仕様

φ3.5mmステレオミニプラグでインピーダンス16Ω以上（32Ωを推奨）のものをお使いください。

付録

さくいん

英数字・記号

ア行

付録

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

付録

マ行

ラ行

付録

画面で見るマニュアル （パソコン電子マニュアル）

この製品には、画面で見るマニュアルがあります。
冊子のマニュアルとあわせてご覧ください。

パソコン電子マニュアルを表示する

1 ウェルカムセンターの「パソコン電子マニュアル」をクリックする

2 「パソコン電子マニュアルを起動します」をクリックする

ご参考

- ウェルカムセンターが表示されていないときは、(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「パソコン電子マニュアル」の順にクリックしても【パソコン電子マニュアル】を表示することができます。

ヘルプ をクリック

【パソコン電子マニュアル】の使い方についてはヘルプを参照してください。

質問を入力して 検索 をクリック

【パソコン電子マニュアル】やソフトウェアのヘルプの中から、関連する項目を探します。詳しくは「**パソコン電子マニュアルの使い方**」(☞92 ページ)をご覧ください。

使い方を知りたい

パソコンのさまざまな使い方を紹介!!

パソコンの学習

楽しみながらパソコンの基本操作を学習!!

トラブル解決

トラブルの解決をお手伝い!!

付属ソフトウェア

付属ソフトウェアの概要やお問い合わせ先を紹介!!

サポート&サービス

使い方相談や修理相談の窓口を紹介!!

最新情報はこちらから

この製品の最新情報をホームページで確認!!

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

パーソナルコンピュータ PC-AX30V/PC-AX80V/PC-AX120V

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 低消費電力設計

● 省エネ法で定められた2007年度目標値を100%以上達成しています。
消費電力 ： 最大約66W（PC-AX30V）、最大約75W（PC-AX80V）、 最大約95W（PC-AX120V）

グリーン材料 環境に配慮した材料を採用

● 主要基板に無鉛はんだを採用しています。
● 特定化学物質※の含有率を「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法（JIS C 0950）」（通称J-Moss）で定められる基準値以下におさえています。
※ 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリ臭化ビフェニール）・PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）。
なお、一部の電子部品に含まれる鉛はJ-Mossの除外項目に該当します。

「よくあるご質問」などはホームページをご活用ください。 インターネットAQUOSサポートページ http://i-aquos.sharp.co.jp/

使用方法のご相談など

■ご購入後1年以内のお客様はこちら
【お客様サポートセンター】
0120 - 572 - 539
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
●お問い合わせ前にユーザー登録の必要があります。

■ご購入後1年経過のお客様はこちら
【お客様サポートセンター有料窓口】
0120 - 587 - 365
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 ●月曜～金曜：9:00～21:00 ●土曜・日曜・祝日：9:00～18:00
（年末年始は、受付時間が異なる場合があります）

修理のご相談など

【お客様サポートセンター修理相談窓口】

0570 - 01 - 4649
全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

■IP電話・PHSなどナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	東日本地区	西日本地区
一般電話	043 - 351 - 1831	06 - 6792 - 5613
FAX受信専用	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～18:00（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.10）

シャープ株式会社

本　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。